



業務用デジタル無線機

MOTOTRBO™
SL シリーズ

SL1K 携帯型無線機
ユーザーガイド

目次

このユーザーガイドには、MOTOTRBO SL1K デジタル携帯型無線機を使用する上で必要なすべての情報が記載されています。

重要な安全情報	vii
製品の安全性と電磁波被曝に関する要件の 準拠	vii
ファームウェアバージョン	vii
コンピュータ ソフトウェア著作権	viii
オープン ソース ソフトウェアの法定通知	viii
使用上のご注意	ix
電磁波エネルギー被曝および製品の 安全性のガイドラインと取り扱い説明	ix
操作時のご注意	x
はじめに	1
このガイドの使用方法	1
ディーラー/システム管理者からの情報	1
無線機を使用する前の準備	2
バッテリーの取り付け	2
バッテリーの充電	3
イヤピース/オーディオ アクセサリの取り付け	4

無線機の電源を入れる	4
音量の調節	5
無線機コントロールの特定	6
無線機コントロール	7
プログラム可能なボタン	8
指定可能な無線機機能	8
指定可能な設定/ユーティリティ機能	10
4 ウェイ ナビゲーション ディスクの使用	10
プログラムされた機能のアクセス	11
キーパッドの使用	12
プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	13
IP サイト接続	14
キャパシティ プラス	14
リンクドキャパシティ プラス	15
ステータス インジケータの特定	16
ディスプレイ アイコン	16
通話アイコン	18
設定アイコン	19
ミニ通知アイコン	19
送信 BOX アイコン	20
ワーク チケットアイコン	20
LED インジケータ	21
音声トーン	22
インジケータ トーン	22

通話の着信と発信	23
ゾーン選択	23
チャンネル選択	24
無線通話の受信と応答	25
グループコールの受信と応答	25
個別コールの受信と応答	26
一斉コールの受信	27
コールの受信と応答	27
個別コールとして通話	27
グループコールとして通話	28
一斉コールとして通話	28
無線通話の発信	29
グループコール発信	29
個別コール発信	30
一斉コールの発信	31
ワンタッチ アクセス ボタンを使用した通話	32
プログラミング可能な数値キーを使用して、 グループ、個別、または一斉コールを 実行する	33
プログラム可能な通話ボタンで通話を行う	34
プログラム可能なダイヤル ボタンで通話を 行う	35
個別コール発信	35
通話を行う	36

無線通話の停止	37
ダイレクトモード	38
モニタ機能	39
チャンネルのモニタ	39
ステッキ モニタ	39
高度機能	40
無線機チェック	40
無線機チェックの送信	40
リモート モニタ	42
リモート モニタの開始	42
スキャン リスト	43
スキャン リスト内のエントリの表示	43
エイリアス検索を使用したスキャン リストへの エントリの表示	44
スキャン リストの編集	44
スキャン リストへの新規エントリの追加	44
スキャン リストからのエントリの削除	45
スキャン リスト内のエントリの優先度の 設定と編集	46
スキャン	47
アクティブなスキャン リストの設定	47
スキャン開始と停止	47
スキャン中の送信への応答	48
迷惑チャンネルの削除	48
迷惑チャンネルの復元	48

連絡先設定	49	ページング操作	62
連絡先からのグループ コール発信	49	ページングの受信と応答	62
連絡先からの個別コール発信	50	連絡先リストからのページング	62
連絡先から通話を行う	51	ワンタッチ アクセス ボタンを使用した ページング	63
エイリアス検索による通話発信	53	緊急操作	63
プログラミング可能な数値キーにエントリーを 割り当てる	54	緊急アラームの受信	64
エントリーとプログラミング可能な数値キー間の アソシエーションの削除	55	緊急アラームへの応答	65
新規登録	55	緊急アラームの送信	65
連絡先へのメッセージの送信	56	通話による緊急アラームの送信	66
通話インジケータ設定	56	音声ガイドおよび緊急アラームの送信	67
ページング用着信音のオンとオフの切り替え	56	緊急モードの再開	68
個別コール用着信音のオン、オフの切り替え	57	緊急モードの終了	68
テキスト メッセージ用着信音のオンとオフの 切り替え	57	メッセージ機能	69
着信音スタイルの割り当て	58	メッセージの作成と送信	69
アラート音タイプ選択	58	クイック メッセージの送信	70
警告トーンの音量を上げる	59	ワンタッチ アクセス ボタンでクイック メッセージを送信	71
通話履歴機能	60	下書きフォルダへのアクセス	71
最近の通話の表示	60	保存されたメッセージの表示	71
不在着信	60	保存されたメッセージの編集と送信	72
通話リストからのエイリアスの保管	60	下書きフォルダからの保存された メッセージの削除	73
通話リストからの通話の削除	61	送信失敗メッセージの管理	73
通話リストからの詳細の表示	61	メッセージの再送信	73

メッセージの転送	74	手動サイト検索の開始	86
メッセージの編集	74	セキュリティ	87
送信済みメッセージの管理	75	無線機停止	87
送信済みメッセージの表示	75	停止解除	88
送信済みメッセージの送信	76	ローンワーカー	89
送信BOXからの全送信済みメッセージの 削除	77	パスワードロック機能	90
メッセージの受信	77	パスワードから無線機にアクセスする	90
メッセージの表示	77	無線機をロックステータスからロック 解除する	91
受信メッセージの管理	78	パスワードロックのオン/オフを切り換える	91
受信トレイのメッセージの表示	78	パスワードの変更	92
受信トレイのメッセージへの返信	79	ブルートゥース動作	92
受信トレイのメッセージの削除	80	ブルートゥースのオン/オフの切り替え	93
受信トレイの全メッセージの削除	80	ブルートゥース デバイスの検出と接続	93
ワーク チケット	81	ブルートゥース デバイスからの検索と接続 (検出可能モード)	94
ワーク チケット フォルダへのアクセス	81	ブルートゥース デバイスからの切断	95
ワーク チケットへの応答	81	音声ルートの切り替え	95
ワーク チケットの削除	82	デバイスの詳細の表示	95
プライバシー	83	デバイス名の編集	96
ステルス モード	84	デバイス名の削除	96
ステルス モードの開始	84	ブルートゥース Mic ゲイン	97
ステルス モードの終了	84	通知リスト	97
デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF)	84	通知リストへのアクセス	97
複数サイト コントロール	85	OTA (無線) プログラミング (OTAP)	98
自動サイト検索の開始	85		
自動サイト検索の停止	86		

公共事業	98	Mic AGC-D	108
無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え	98	インテリジェント オーディオ	108
キー操作音のオンとオフの切り替え	99	ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え	109
トーンアラート ボリューム オフセット		テキスト入力設定	109
レベルの設定	99	単語修正	110
許可トーンのオンとオフの切り替え	100	単語予測	110
表示モードの変更	101	文章大文字修正	111
表示輝度の調整	101	カスタム語の表示	111
ディスプレイ バックライトの制御	102	カスタム語の編集	112
壁紙モード	102	カスタム語の追加	113
スクリーン セーバー モード	103	カスタム語の削除	113
オーディオ アクセサリ	103	すべてのカスタム語の削除	114
キーパッドのロックとロック解除	104	一般無線機情報へのアクセス	114
オート キーロック	104	バッテリー情報へのアクセス	115
言語	105	無線エイリアスと ID をチェックする	115
メッセージ警告トーンの設定	105	ファームウェア バージョンと	
LED 表示のオンとオフの切り替え	105	コードプラグ バージョンのチェック	116
音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え	106	オープンソース ソフトウェア情報のチェック	116
オプションボード機能のオンとオフの切り替え	107	ソフトウェア更新	116
ケーブル タイプの特定	107	サイト情報	117
音声ガイド	107	RSSI 値	117

アクセサリ	118
アンテナ	118
オーディオ アクセサリ	118
バッテリー	118
ブルートゥース	118
ケーブル	119
キャリア デバイス	119
充電器	119
その他アクセサリ	119

重要な安全情報

製品の安全性と電磁波被曝に関する要件の準拠



注意

本製品をご使用になる前に、無線機に同封されている製品の安全性と電磁波被曝に関する冊子に記載されている安全な利用のための操作説明書をお読みください。

注意！

この無線機は、FCC および ICNIRP の電磁波暴露に関する必要条件に準拠した業務用の利用に限定されています。本製品をご使用になる前に、無線機 (Motorola 出版物部品番号 6804110J47) に同封されている製品の安全性と電磁波被曝に関する冊子に記載されている電磁波エネルギー認識情報と操作説明書を一読いただき、電磁波エネルギー被曝制限を確実に順守してください。

Motorola 承認アンテナ、バッテリー、その他アクセサリのリストは、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.motorolasolutions.com>

タイで利用可能なモデル

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission の要件に適合しています。

ファームウェア バージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、無線機のファームウェア バージョン **R02.06.00** 以降でサポートされます。

無線機のファームウェア バージョンを確認するには、116 ページの「ファームウェア バージョンとコードプラグ バージョンのチェック」を参照してください。

サポートされる機能の詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムを形式を問わず複製あるいは再生する独占権が含まれますが、これに限定されません。従って、本マニュアルで説明される Motorola 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola コンピュータ プログラムをも、Motorola からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信してはなりません。さらに、Motorola 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクトコードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようとする試み、またはいかなる方法においてもオブジェクトコードを人間が読み取り可能な形式に変換しようとする試みすることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、#5,226,084、#5,195,166。

オープン ソース ソフトウェアの法定通知

この Motorola 製品にはオープン ソース ソフトウェアが含まれています。ライセンス、承認、必要な著作権表記、その他の使用条件の詳細については、次の Web ページにあるこの Motorola 製品の文書を参照してください。

使用上のご注意

MOTOTRBO シリーズのデジタル携帯型無線機は IP54 仕様を満たしています。ただし、無線機の防塵および防水性能には制限があります。

- 適切な機能および性能を保つために、無線機を清潔に保ち、浸水を避けてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水(すなわち、1 ガロンの水にスプーン 1 杯の洗剤)を使用してください。
- 定期的な外観検査で汚れやグリースがあることに気付いたときは必ず、外面をクリーニングする必要があります。



注意

特定の化学物質とその蒸気は、特定のプラスチックに有害な影響を及ぼす場合があります。エアゾール スプレー、チューナー クリーナー、および他の化学物質を使用しないでください。

電磁波エネルギー被曝および製品の安全性のガイドラインと取り扱い説明

詳細については、『Regulatory Compliance and Product Safety Guide』に記載されている正しい使用方法、警告、および注意を参照してください。

- 快適なオーディオ レベルを確保し、電磁波エネルギー被曝制限を順守するためには、耳または頭の横に保持しないでください。
- 電磁波エネルギー被曝制限を確実に順守するためには、顔の前で使用するか、または Motorola Solutions 認定のオーディオ アクセサリーおよびキャリア ケースを使用してください。



操作時のご注意

- 50%の定格使用時間率を超えて交信しないでください。送信（PTT）ボタンを押して送信し、受信するには、PTTボタンを放します。受話するには、PTTボタンを放します。計測可能な電磁波エネルギーの被曝は送信時にのみ発生するので、送信を使用時間率で50%以下にすることが重要です（基準適合の計測のため）。
- 聴力を保護するために、仕事に必要な最低の音量を使用し、ヘッドセットまたはイヤピースを付ける前に音量を下げ、ヘッドセットまたはイヤピースを大音量で使用する時間を制限してください。
- 使用者は、本機を他の使用者に譲渡する場合には、必ず本機の電磁波についての取り扱い説明書を添えてください。

注：詳細については、無線機に同梱されているクイック リファレンス ガイド/安全性に関する冊子 (Motorola 出版物番号 68012004085) の「電磁波エネルギーおよびその規制に関する情報、および業務上の使用のための取り扱い方法の説明」を参照してください。

はじめに

まずは以下をご確認ください:

このガイドの使用方法 1 ページ

ディーラー/システム管理者からの情報 1 ページ

■ このガイドの使用方法

このユーザー ガイドでは、MOTOTRBO SL1K デジタル ポータブル無線機の基本的な操作方法を説明しています。

ただし、ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

従来型複数サイト モードで利用可能な機能の詳細については、14 ページの「**IP サイト接続**」を参照してください。

一部の機能は単一サイト トランキング モードであるキャパシティ プラスでも利用できます。詳しくは、14 ページの「**キャパシティ プラス**」を参照してください。

一部の機能は複数サイト トランキング モードであるリンクドキャパシティ プラスでも利用できます。15 ページの「**リンクドキャパシティ プラス**」を参照してください。

■ ディーラー/システム管理者からの情報

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にご相談ください。

- 無線機は、事前設定の従来チャンネルがプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするためにどのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延長するには、どのような保守手段が役立つか？

注：仕様は無線機のモデルにより異なることがあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

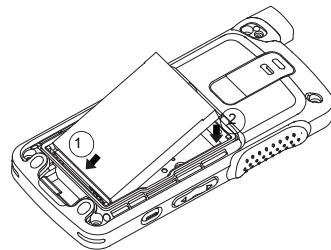
無線機を使用する前の準備

以下の手順に従い、無線機を組み立てます：

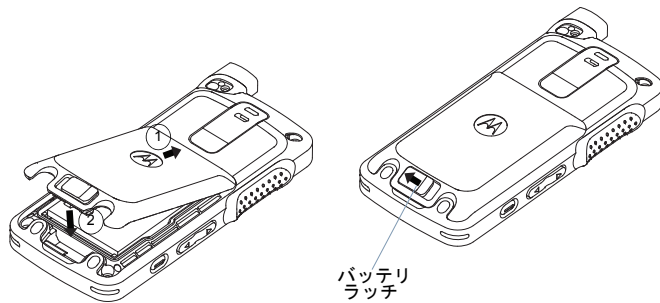
バッテリーの取り付け	2ページ
バッテリーの充電	3ページ
イヤピース/オーディオ アクセサリの取り付け	4ページ
無線機の電源を入れる	4ページ
音量の調節	5ページ

■ バッテリーの取り付け

バッテリー接触面がバッテリー収納部内の接続部に接続するように調整します。まず、バッテリーの接続側を挿入します。バッテリーをそっと押しして所定の位置に収めます。



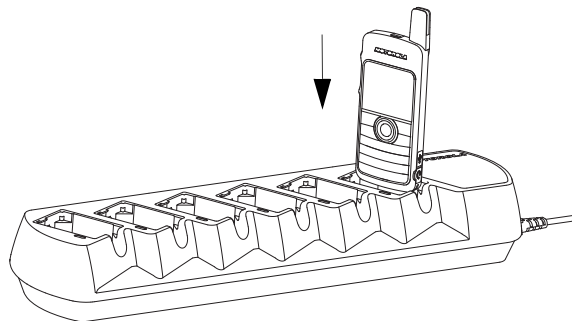
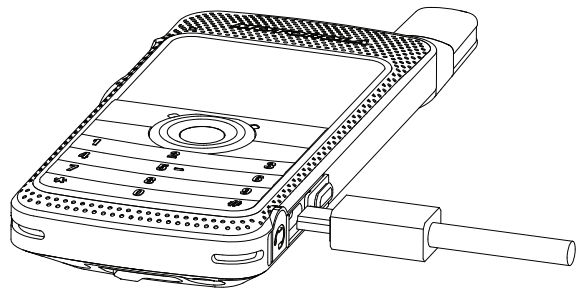
バッテリー カバーを取り付けるには、それを所定の位置に収め、バッテリー ラッチが収まるまでスライドさせます。バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。



■ バッテリーの充電

無線機の電源は、リチウムイオン (Li-Ion) バッテリーです。損害を防ぎ、保証条件に適合するために、充電器のユーザーガイドに記載されているとおりにモトローラ製充電器を使ってバッテリーを充電してください。すべての充電器は、モトローラが承認したバッテリーのみを充電できます。他のバッテリーは充電できません。充電中は無線機の電源を切っておくことをお勧めします。

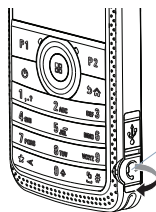
最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 時間から 16 時間充電してください。無線機のバッテリーを充電する前に、無線機の電源を切ることをお勧めします。バッテリーの充電は常温するのが最適です。



注：バッテリー充電アイコンは、ユーザーが USB ケーブルを抜くまで、あるいは、無線機を充電器から外すまで表示されます。

■ イヤピース/オーディオ アクセサリの 取り付け

音声ジャックは無線機のアンテナ側にあります。MOTOTRBO アクセサリを無線機に接続するために使用します。



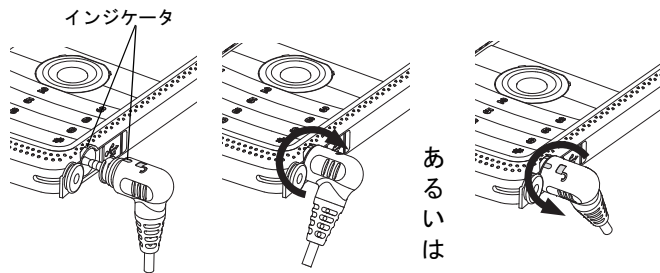
オーディオ
ジャック

音声ジャックのカバーのフラップを持ち上げます。コネクタとカバーの両方のインジケータをそろえて、きちんと入るまで押し込み

ます。

コネクタを時計回りまたは反時計周りに回してロックします。

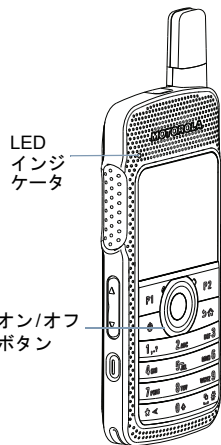
ロックを解除するには、コネクタとカバーの両方のインジケータが整列されるまで回し、コネクタをそっと引き出して、無線機から外します。



■ 無線機の電源を入れる

フロント キーパッドにある **オン/オフ** ボタンを押します。無線機のディスプレイには、[MOTOTRBO (TM)] が短時間表示された後、歓迎のメッセージまたはようこそ画面が表示されます。

緑色の LED が点灯し、ホーム画面のライトが点灯します。バックライトは、輝度の最後の設定によって異なります。



注：輝度は、手動の輝度モードを介して設定されるか、無線機の光センサーによって自動的に制御されます。LED インジケータが無効になっている場合は、電源投入時にホーム画面は点灯しません (105 ページの「LED 表示のオンとオフの切り替え」を参照)。

短いトーン音は、電源テストが成功したことを示しています。

注：無線機トーン/アラート機能が無効になっている場合、パワーアップ トーンはありません (98 ページの「無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え」を参照)。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合は、ディーラーにお問い合わせください。

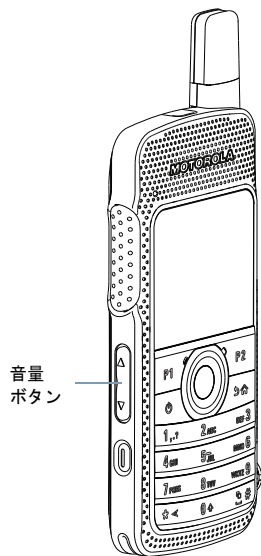
無線機の電源を消すには、もう一度オン/オフ ボタンを 2 秒間押し続けます。無線機のディスプレイに [でんげん シャットダウン] が瞬間的に表示されます。

■ 音量の調節

音量を上げるには、**音量ボタン**を上を押します。

音量を下げるには、**音量ボタン**を下を押します。

注：お使いの無線機は、音量が最小となるようプログラム設定できます。音量レベルは、プログラムで設定された最小音量より小さくすることはできません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

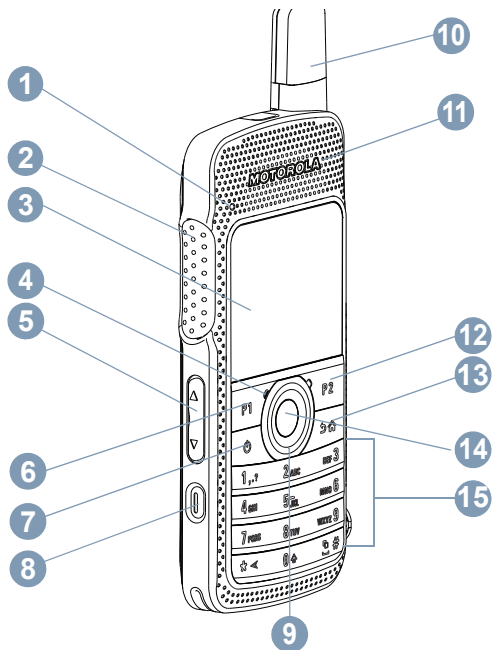


無線機コントロールの特定

まずは以下をご確認ください：

無線機コントロール	7ページ
プログラム可能なボタン	8ページ
4 ウェイ ナビゲーション ディスクの使用	10ページ
プログラムされた機能のアクセス	11ページ
キーパッドの使用	12ページ
プッシュアウトーク (PTT) ボタン	13ページ
IP サイト接続	14ページ
キャパシティ プラス	14ページ
リンクド キャパシティ プラス	15ページ

■ 無線機コントロール



- ① LED インジケータ
- ② プッシュアウトトーク (PTT) ボタン
- ③ 表示

- ④ マイク
- ⑤ 音量ボタン
- ⑥ フロント ボタン P1*
SP: _____ LP: _____
- ⑦ オン/オフ ボタン
- ⑧ 緊急ボタン*
- ⑨ 4ウェイ ナビゲーション ディスク
- ⑩ アンテナ
- ⑪ スピーカー
- ⑫ フロント ボタン P2*
SP: _____ LP: _____
- ⑬ バック/ホーム ボタン
- ⑭ メニュー /OK ボタン
- ⑮ キー

* これらのボタンはプログラム可能です。

■ プログラム可能なボタン

ボタンを押す長さに応じて**無線機の機能**、または**プリセットチャンネル/グループ**へのショートカットとして、プログラム可能なボタンをプログラミングできます。

- 短押し – 押してすぐに放します (0.05 秒)。
- 長押し – プログラムされた長さ (1.00 秒から 3.75 秒の間) 押し続けます。
- 押し下げる – ボタンを押し続けます。

注： ボタン押しの長さをプログラミングすれば、割り当てる無線/ユーティリティの機能や設定に適用できます。**緊急**ボタン押しの長さをプログラミングする詳細については、63 ページの「**緊急操作**」を参照してください。

プログラム可能ボタンは、必要に応じてカスタマイズすれば、最大 9 個の機能をサポートできます。プログラミングのオプションについては、ディーラーまでお尋ねください。

□ 指定可能な無線機機能

アクション – CPS プログラム可能なアクションのリストにアクセスするためのプログラム可能ボタン。

オーディオ ルーティング – 内部無線機スピーカーと外部アクセサリスピーカーの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth™ オーディオ切り替え – 内部無線機スピーカーと外部Bluetooth対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

連絡先 – 連絡先リストに直接アクセスできます。

ページング – 無線機の連絡先リストに直接アクセスして無線機の連絡先を選択し、ページングを送信します。

通話履歴 – 通話履歴のリストを選択します。

チャンネル アナウンス – 現在のチャンネルのゾーンとチャンネルアナウンス音声メッセージを示します。

無線エイリアスの表示 – 無線機の表示名が示されます。

緊急 – プログラムに応じて、緊急アラームや通話を始動またはキャンセルします。

インテリジェント オーディオ オン/オフ – インテリジェントオーディオのオンとオフを切り替えます。

ワーク チケット – ワーク チケットを表示したり実行したりできます。

手動ダイヤル – プログラミングに従い、加入者 ID または電話番号を入力して個別通話あるいは通話を開始します。

手動サイト ローミング* – 手動サイト検索を開始します。

Mic AGC オン/オフ – 内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

モニタ – 選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

通知 – 通知リストに直接アクセスできます。

迷惑チャンネル削除* – 選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元としてユーザーが選択したゾーン/チャンネルの組み合わせを指します。

ワンタッチ アクセス – 前に定義した個別コール、通話またはグループ コール、ページングまたはクイック メッセージを直接開始します。

オプション ボード機能 – オプション ボード有効チャンネルで、オプション ボード機能のオンとオフを切り替えます。

常設モニタ* – 機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルをモニタします。

通話 – 通話連絡先リストに直接アクセスできます。

電源バッテリー インジケータ – 現在のバッテリー レベルの状態を表示します。

秘話モード – プライバシーのオンとオフを切り替えます。

無線エイリアスと ID – 無線エイリアスと ID を提供します。

無線機チェック – システム内の無線機がアクティブであるかどうかを確認します。

停止解除 – 相手の無線機を遠隔で停止解除できます。

無線機停止 – 相手の無線機を遠隔で停止できます。

リモート モニタ – インジケータを表示せずに相手の無線機のマイクをオンにします。

リピーター/ダイレクト モード* – リピーターの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

アラート音タイプ – アラート音タイプ設定への直接アクセスを提供します。

スキャン – スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイト情報* – 現在のリンクド キャパシティ プラス サイト名および ID を表示します。現在のサイトの音声ガイド メッセージを再生します (この機能は、音声ガイドが無効になっているときには利用できません)。

サイト ロック オン/オフ* – 自動サイト ローミングのオンとオフを切り替えます。

メッセージ – メッセージ メニューを選択します。

リモート送信解除 – インジケータによる通知なしに、リモートのモニタ対象無線機を送信を停止するか、または現在進行中の割り込み可能な通話を停止し、チャンネルを解放します。

未登録 – 未登録のプログラム可能ボタン。

音声ガイド オン/オフ – 音声ガイドのオン/オフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX) – VOX のオンとオフを切り替えます。

ゾーン – ゾーンのリストからの選択を可能にします。

* キャパシティ プラスでは利用不可

‡ リンクド キャパシティ プラスでは利用不可

指定可能な設定/ユーティリティ機能

全トーン/アラート – 全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

輝度 – 輝度が手動の輝度モードを介して設定されるか、無線機の光センサーによって自動的に制御されます。

表示モード – デイ/ナイト表示モードのオンとオフを切り替えます。

キーパッド ロック – キーパッドのロックのオンとオフを切り替えます。

壁紙 – ホーム画面上に表示されます。

4 ウェイ ナビゲーション ディスクの使用

4 ウェイ ナビゲーション ディスクの[Ⓢ]を使用すると、オプションによりスクロールしたり、値を増減したり、垂直にナビゲートすることができます。

カテゴリ	方向	
	▲ または ▼	◀ または ▶
メニュー	垂直ナビゲーション	–
リスト	垂直ナビゲーション	–
詳細の表示	垂直ナビゲーション	前/次の項目
数値	増減	–

4 ウェイ ナビゲーション ディスクの[Ⓢ]は、数、エイリアス、または自由形式のテキスト エディタとして使用できます。

▶ ボタンを使用すると、ホーム画面のチャンネルを変更できます。

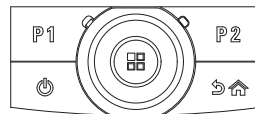
メニュー/OK ボタンを押して、適切なチャンネルを選択します。

エディタカテゴリ	方向	
	▲ または ▼	◀ または ▶
番号	—	左:最後の桁を削除 右:—
エイリアス	—	カーソルを1文字分 左/右に移動します。
自由形式の テキスト	カーソルを上/下に 移動します。	カーソルを1文字分 左/右に移動します。

■ プログラムされた機能のアクセス

以下の方法のいずれかを使用して、無線機のさまざまな機能にアクセスできます。

- 該当するプログラム可能なブルボタンを短く押すか、長く押す。















あるいは

- 4 ウェイ ナビゲーション ディスクを次のように使用する。
 - 1 メニューにアクセスするには、**[OK]** ボタンを押します。
▲ または ▼ を押して、必要なメニュー機能にアクセスします。
 - 2 **[OK]** を押して、機能を選択するか、サブメニューを入力します。
 - 3 1つ前のメニューレベルに戻ったり、1つ前の画面に戻るには、**[D-pad]** ボタンを押します。ホーム画面に戻るには、**[D-pad]** ボタンを長く押します。

注: 一定時間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

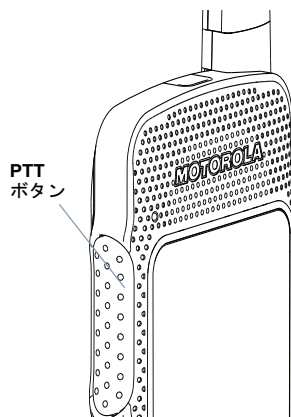
■ キーパッドの使用

英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスできます。キーパッドを使用して、加入者のエイリアスまたは ID、メッセージを入力できます。1 つのキーを複数回押さないと入力できない文字もあります。以下の表は、必要な文字を入力するのに 1 つのキーを押す回数を示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	1	.	,	?	!	@	&	'	%	-	:	*	#
	A	B	C	2									
	D	E	F	3									
	G	H	I	4									
	J	K	L	5									
	M	N	O	6									
	P	Q	R	S	7								
	T	U	V	8									
	W	X	Y	Z	9								
	0	注: 押すと“0”が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。											
	*または削除	注: テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、“*”が入力されます。											
	#またはスペース	注: テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、“#”が入力されます。長押しでテキスト入力方法が変更されます。											

■ プッシュトゥーク (PTT) ボタン

無線機の横側にある PTT ボタンには基本的に 2 つの目的があります。



- 通話中、PTT ボタンを使うと、無線機を通話中の他の無線機に送信できます。

PTT ボタンを押し下げて話します。PTT ボタンを離して聞きます。

PTT ボタンを押すと、マイクが有効になります。

- 通話していない間、新規通話を発信するには PTT ボタンを使います (29 ページの「無線通話の発信」を参照)。

通話許可トーンが有効となっている場合 (100 ページの「許可トーンのオンとオフの切り替え」を参照)、短い警告トーンが終了してから話します。

通話中、お使いの無線機でチャンネルフリー指示機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、相手先の無線機 (電話を受けている無線機) が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

継続した通話禁止音が聞こえます。これは、無線機が緊急通話を受信した場合などに、PTT ボタンを放す必要があるという意味です。

■ IP サイト接続

この機能を使用すると、無線機はインターネット プロトコル (IP) ネットワーク経由で接続された複数のリピーター サイト上で機能することで、単一リピーター サイトでは通信範囲外となる地域と通信することが可能になります。

無線機があるサイトの通信範囲から別のサイトの通信範囲に移動すると、無線機は新しいサイトのベース ステーションに接続して、通話やデータ送信を送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いベース ステーションにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

注: 各チャンネルは、スキャンまたはローミングのいずれか 1 つを有効にできますが、同時に両方を有効にすることはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にメンバー リスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。

ローミング リストは、最大 16 チャンネルをサポートします (選択されたチャンネルを含む)。

ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

■ キャパシティ プラス

キャパシティ プラスは、MOTOTRBO 無線機システムの単一サイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネル プールを使用します。この機能を使用すると、リピーター モードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

キャパシティ プラスが有効な場合も、キャパシティ プラスに該当しない機能はメニューで使用できません。また、キャパシティ プラスでは利用できない機能にプログラム可能なボタンを押してアクセスしようとする、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

無線機には、従来型デジタル モード、IP サイト コネクト、キャパシティ プラス、およびリンクド キャパシティ プラスのいずれのモードでも利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

このシステム設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

■ リンクド キャパシティ プラス

リンクド キャパシティ プラスは、キャパシティ プラスと IP サイト コネクト構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムの複数サイト複数チャンネル トランキング構成です。

この機能を使用すると、無線機はインターネット プロトコル (IP) ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続して、単一サイトでは通信範囲外となる地域とのトランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされているプログラム済みチャンネルは、組み合わせられて、効率的に利用されるため、容量も増加します。

無線機があるサイトの通信範囲から別のサイトの通信範囲に移動すると、無線機は新しいサイトのリピーターに接続して、通話またはデータ送信を送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピーターにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。

注：ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

キャパシティ プラスと同様に、リンクド キャパシティ プラスに該当しない機能のアイコンはメニューで使用できません。また、リンクド キャパシティ プラスでは利用できない機能にプログラム可能なボタンを押してアクセスしようとする、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

ステータス インジケータの特定

以下によって、お使いの無線機の操作ステータスが示されます：

ディスプレイアイコン	16 ページ
通話アイコン	18 ページ
設定アイコン	19 ページ
ミニ通知アイコン	19 ページ
送信 BOX アイコン	20 ページ
ワーク チケットアイコン	20 ページ
LED インジケータ	21 ページ
音声トーン	22 ページ
インジケータ トーン	22 ページ

■ ディスプレイ アイコン

無線機には、QVGA (Quarter Video Graphics Array) 16 ビットカラーの解像度を持つ横長 2 インチのディスプレイが付いています。

以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。アイコンは、外観と操作のため、左詰めに配列されて表示されます。



受信信号強度インジケータ (RSSI)

バーの数で無線機の信号強度を表します。バーが 4 本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。



バッテリー

バーの本数でバッテリーの残量を示します。低バッテリー状態になると点滅します。



バッテリー充電の状態

バッテリー充電の状態の表示。



ブルートゥース未接続

ブルートゥースの機能は有効になりますが、接続されているリモートのブルートゥースデバイスはありません。

**Bluetooth接続**

Bluetooth機能が有効です。リモートのBluetooth デバイスが接続されている間、アイコンは表示されたままになります。

**Bluetooth検出可能**

Bluetooth機能が有効になっていて、無線機は検出可能モードです。

**緊急**

無線機が緊急モードです。

**大量データ**

無線機は大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。

**通知**

通知リストには確認する項目があります。

**スキャン***

スキャン機能が有効になっています。

**スキャン - 優先度 1***

無線機は、優先度 1 に指定されたチャンネル/グループのアクティビティを検出します。

**スキャン - 優先度 2***

無線機は、優先度 2 に指定されたチャンネル/グループのアクティビティを検出します。

**モニタ**

選択されたチャンネルをモニタ中です。

**ダイレクトモード*†**

リピーターがない場合、無線機は無線期間で直接通信を行うように設定されています。

**サイトローミング***

サイトローミング機能が有効です。

**セキュア**

プライバシー機能が有効です。

**非セキュア**

プライバシー機能が無効です。

**オプションボード**

オプションボードが有効です (オプションボード有効モデルのみ)。

**オプションボード非動作**

オプションボードが無効です。

**無線プログラミング遅延タイマー**

無線機の自動再起動までの残り時間を示します。

**全トーン停止**

すべてのトーンがオフです。

**通話履歴**

無線機の通話履歴。

* キャパシティ プラスでは利用不可
† リンクドキャパシティ プラスでは利用不可

**連絡先**

無線機の連絡先が使用可能。

**メッセージ**

着信メッセージ。

**サイレントモード**

サイレント呼出音モードが有効です。

**着信音のみ**

呼出音モードが有効です。

**マナーモード**

バイブモードが有効です。

**バイブと呼出音**

バイブと呼出音モードが有効です。

**キー**

キーパッドがロックされています。

■ 通話アイコン

以下は、通話中に無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、ID タイプを示すために連絡先リストにも表示されます。

**個別通話**

個別コール中であることを示します。

**グループコール/一斉コール**

グループコール中または一斉コールであることを示します。

**個別コールとして通話**

個別通話としてコール中であることを示します。連絡先リストでは、電話のエイリアス(名前)またはID(番号)を示します。

**グループコール/一斉コールとして通話**

グループコール/一斉コールとしてコール中であることを示します。連絡先リストでは、グループのエイリアス(名前)またはID(番号)を示します。

**Bluetooth PC コール**


Bluetooth PC コール中であることを示します。連絡先リストでは、Bluetooth PC コールエイリアス(名前)またはID(番号)を示します。


**個別ページングアイコン**


連絡先リストでは、加入者のエイリアス(名前)またはID(番号)を示します。


■ 設定アイコン

以下のアイコンは、次のオプションを提供する無線機のディスプレイにあるメニュー項目の横に表示されます。

 **チェックボックス (空)**
オプションが選択されていないことを示します。


 **チェックボックス (チェックされている)**
オプションが選択されていることを示します。


明るさ
 輝度のレベルを示します。


強調表示された輝度
 輝度のレベルを強調表示します。

■ ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、無線機のディスプレイに瞬時的に表示されます。

 **送信に成功 (肯定的)**
アクションに成功しました。

 **送信に失敗 (否定的)**
アクションに失敗しました。

 **通信処理中 (経過)**
送信中。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に見られます。

■ 送信 BOX アイコン

次のアイコンは、送信 BOX フォルダに表示されます。



送信完了

あるいは
メッセージが無事送信されたことを示します。



読み込まれた個別メッセージまたはグループ メッセージ

あるいは
メッセージが読み込まれました。



読み込まれていない個別メッセージまたはグループ メッセージ

あるいは
メッセージは読み込まれませんでした。



送信失敗

あるいは
メッセージを送信できません。



実行中

あるいは

- グループのエイリアスまたは ID へのメッセージの送信が保留中です。
- 加入者のエイリアスまたは ID へのメッセージの送信は保留となり、承認を待っている状態です。



■ ワーク チケットアイコン



すべてのジョブ

リストされているすべてのジョブを示します。

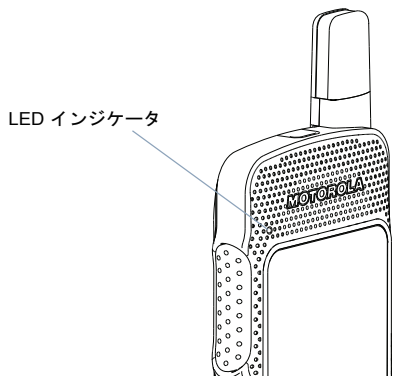


新しいジョブ

新しいジョブを示します。

■ LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。



赤色の点滅 – 無線機が低バッテリー状態で送信している、緊急送信を受信している、あるいは電源を入れた際のセルフテストが失敗しています。

黄色の点灯 – 無線機が従来型チャンネルまたはブルトウス検出可能モードをモニタしています。また、プログラム可能なバッテリー強度ボタンが押されると、正しいバッテリー充電が示されます。

黄色の点滅 – 無線機がアクティビティをスキャンしているか、あるいはページングを受信しています。または、ローカルリンクドキャパシティプラスチャンネルがすべてビジーです。

黄色の2回点滅 – 無線機がキャパシティプラスまたはリンクドキャパシティプラスであってもリピーターに接続されていないか、キャパシティプラスまたはリンクドキャパシティプラスの全チャンネルが現在ビジーか、自動サイトローミング機能が有効か、無線機が新規サイトを検索しているか、無線機がグループ通話警告にまだ応答していません。また、無線機がグループのページングにまだ応答していないか、無線機がロックされていることを示します。

緑色の点灯 – 無線機に電源が入られたか、送信しています。また、プログラム可能なボタンを押したときは、バッテリーが完全に充電されていることを示します。

緑色の点滅 – 無線機に電源が入られたか、非秘話対応通話またはデータを受信しているか、アクティビティを検出しているか、あるいはOTA(無線)プログラミングの送信を無線で取得しています。

緑色の2回点滅 – 無線機が秘話対応通話またはデータを受信しています。

注：従来モードでLEDが緑色に点滅した場合、無線機がエア接続のアクティビティを検出したことを表します。デジタルプロットコールの性質により、このアクティビティは無線機のプログラム済みチャンネルに影響を与える、または与えない場合があります。

キャパシティプラスおよびリンクドキャパシティプラスの場合にLEDが緑色に点滅した場合、無線機がエア接続のアクティビティを検出したことを表します。

■ 音声トーン

警告トーンは、無線機のステータスまたは受信データへの無線機の反応を音声で示します。

連続トーン モノトーン音。終了まで音が続きます。



定期トーン 無線機で設定された時間に応じ、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止して、繰り返されます。



反復トーン ユーザーが終了するまで、シングルトーンが繰り返されます。



瞬間トーン 無線機で定義された短い時間、一度だけ音が鳴ります。



■ インジケータ トーン

高いトーン □

低いトーン ■



ポジティブ インジケータ
トーン



ネガティブ インジケータ
トーン

通話の着信と発信

MOTOTRBO SL1K の設定方法についてご理解いただけましたら、いよいよ無線機をお使いいただけます。

このナビゲーションガイドを使って、基本的な通話機能に慣れてください。

ゾーン選択	23 ページ
チャンネル選択	25 ページ
無線通話の受信と応答	25 ページ
無線通話の発信	29 ページ
無線通話の停止	37 ページ
ダイレクトモード	38 ページ
モニタ機能	39 ページ

■ ゾーン選択

ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。無線機は最大 250 のゾーンをサポートします。1 ゾーンの最大チャンネル数は 160 です。

以下の手順でゾーンを選択します。

手順:

プログラムされた [ゾーン] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

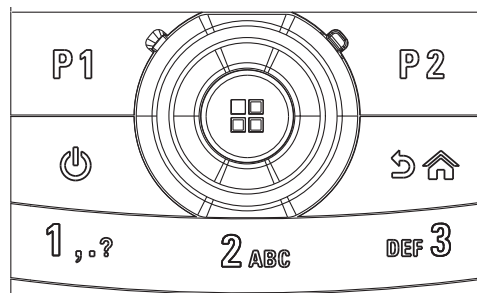
以下に示す手順を実行します。

- 1 **☉** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して [ゾーン] に移動し、**☉** を押して選択します。
- 3 現在のゾーンが表示され、**✓** で示されます。
- 4 **▲** または **▼** を押して必要なゾーンにアクセスし、ステップ 7 に進みます。
あるいは
 必要なゾーンの最初の文字を入力します。

- 5 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
★◀ を押して、不要な文字を削除します。
☞ を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。
ディスプレイの次の行には、ショートリスト ゾーンが表示されます。
エリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前で 2 つ以上のゾーンある場合は、無線機には、ゾーンリストで最初にリストされたゾーンが表示されます。
- 7 Ⓞ を押して選択します。
- 8 ディスプレイに [ゾーンせんたくずみ] と表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

■ チャネル選択

送信が行われ、チャンネルに受信されます。無線機の設定によって、それぞれのチャンネルで、さまざまなユーザー グループをサポートするために異なるプログラム設定が行われたり、さまざまな機能が提供されています。関連ゾーンを選択した後で、送受信に必要な関連チャンネルを選択します。



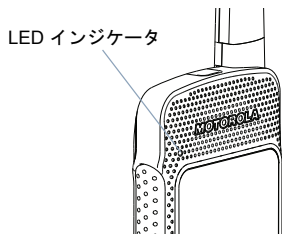
手順:

- 1 ナビゲーション ディスクで、▶ を押して、チャンネル リストにアクセスします (ホーム画面上で)。アクティブ チャンネルが表示され、✓ で示されます。

■ 無線通話の受信と応答

チャンネルまたはグループ エイリアス ID が表示されたら、通話の受信や応答に進むことができます。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が受信している間は緑色に点滅します。



注：無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が秘話対応通話を受信している際には 2 回点滅します。

秘話対応通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機（通話を受信している無線機）と同一のプライバシーキー、または同一のキー値とキー ID（ディーラーがプログラミング）を有している必要があります。

詳しくは、83 ページの「プライバシー」を参照してください。

□ グループ コールの受信と応答

ユーザーのグループへの通話を受信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

グループ コールを受信する場合（ホーム画面で）：

- 1 緑色の LED が点滅します。

- 2 グループ コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、グループ コール エイリアスが表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。


- 3 応答するには、無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持します。

- 4 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。
電話に応答するには、PTT ボタンを押します。
あるいは
音声割り込み機能が有効になっている場合、PTT ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話/応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

- 5 LED が緑色に点灯します。

- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 7 PTT ボタンを離して聞きます。
- 8 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

グループコールについて詳しくは、29 ページの「グループコール発信」を参照してください。

注：無線機が、ホーム画面以外の画面でグループコールを受信すると、通話に応答するまでその画面のままとなります。応答前に発信者のエイリアスを確認するには、 ボタンを長く押してホーム画面に戻ります。

個別コールの受信と応答

個別コールとは、ある無線機から別の無線機への通話のことです。

手順：

個別コールを受信する際：

- 1 緑色の LED が点滅します。
- 2 ステータス行に、個別コール アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目には、発信者のエイリアスが表示されません。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。無線機の消音解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。

- 3 応答するには、無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持します。
- 4 チャネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。
あるいは
音声割り込み機能が有効になっている場合、PTT ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話/応答ができるようにそのチャネルを解放します。
- 5 LED が緑色に点灯します。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 7 PTT ボタンを離して聞きます。
- 8 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 9 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

個別コールの詳細については、30 ページの「個別コール発信」を参照してください。

📄 一斉コールの受信

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知を行うために使われます。

手順：

一斉コールを受信する際：

- 1 トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。
- 2 グループコールアイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、[いっせいコール] と表示されます。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 3 一斉コールが終了すると、通話を受信する前の画面に戻ります。一斉コールは、終了前の事前に定められた時間中、待機しません。チャンネルフリー通知機能が有効になっている場合、送信側無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉コールに応答することはできません。

一斉コールについて詳しくは、31 ページの「一斉コールの発信」を参照してください。

注：通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機は一斉コールの受信を停止します。


一斉コール中、通話が終了するまで、プログラムされたボタン機能のいずれも使うことはできません。

📄 コールの受信と応答

📄 個別コールとして通話

手順：

個別コールとして通話を受信した場合：


- 1 通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイに発信者のエイリアスまたは[でんわ]が表示されます。
- 2 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。
- 3 通話を終了するには  を押します。ディスプレイには [でんわせつだん] と表示されます。
- 4 正常に行われた場合：
トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。
あるいは
正常に行われなかった場合：
無線機は通話画面に戻ります。ステップ 3 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

ご使用の無線機で通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機ではコールが消音となります。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。

📞 グループコールとして通話

手順:

グループコールとして通話を受信した場合:


- 1 通話グループコールアイコンが右上端に表示されます。ディスプレイにグループのエイリアスと [でんわ] が表示されます。
- 2 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。
- 3 通話を終了するには  を押します。ディスプレイには [でんわせつだん] と表示されます。
- 4 正常に行われた場合:
トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。
あるいは
正常に行われなかった場合:
無線機は通話画面に戻ります。ステップ 3 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

ご使用の無線機で通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機ではコールが消音となります。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。

📞 一斉コールとして通話

手順:

一斉コールとして通話を受信した場合:

- 1 通話アイコンが右上端に表示されます。ディスプレイに [いっせいコール] と [でんわ] が表示されます。
- 2 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。
- 3 通話を終了するには  を押します。ディスプレイには [でんわせつだん] と表示されます。
- 4 正常に行われた場合:
トーンが鳴り、ディスプレイに [いっせいコール] と [コールしゅうりょう] が表示されます。
あるいは
正常に行われなかった場合:
無線機は通話画面に戻ります。コールを終了するには、ステップ 3 を繰り返します。

ご使用の無線機で通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイには [Unavailable] と表示され、無線機ではコールが消音となります。コールが終了すると、無線機は前の画面に戻ります。

注: 一斉コールとして通話を受信した場合、一斉コールタイプがチャンネルに割り当てられている場合のみ、コールに応答したりコールを終了したりできます。

■ 無線通話の発信

チャンネルを選択したら、以下を使って、加入者の ID、またはグループを選ぶことができます：

- PTT ボタン
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタン
- プログラム設定された数値キー (33 ページの「**プログラミング可能な数値キーを使用して、グループ、個別、または一斉コールを実行する**」を参照)
- プログラム可能なボタン – この方法は通話にのみ対応します (34 ページの「**プログラム可能な通話ボタンで通話を行う**」を参照)。
- 連絡先リスト (49 ページの「**連絡先設定**」を参照)
- ダイヤル (連絡先経由) – この方法は個別通話および通話にのみ対応し、キーパッドを使用してダイヤルされます (50 ページの「**連絡先からの個別コール発信**」および 35 ページの「**プログラム可能なダイヤル ボタンで通話を行う**」を参照)。

注：プライバシー有効送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルでプライバシー機能が有効になっている必要があります。お使いの無線機と同一のプライバシー キー、または同じキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

詳しくは、83 ページの「**プライバシー**」を参照してください。

ワンタッチ アクセス機能により、事前に設定された ID に対し、簡単にグループコールまたは個別コールをかけることができます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すというプログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。**ワンタッチ アクセス** ボタンに指定される ID は 1 つのみです。お使いの無線機で、複数の**ワンタッチ アクセス** ボタンをプログラムすることが可能です。

📄 グループコール発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。24 ページの「**チャンネル選択**」を参照してください。
あるいは
プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。
- 2 応答するには、無線機を口から 1 ～ 2 インチ (2.5 ～ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持します。

- 3 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。グループコールアイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、グループコールのエイリアスが表示されます。
- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 5 **PTT** ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。ディスプレイに、グループコールアイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。
- 6 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**PTT** ボタンを押して応答します。
- 7 無線機は、コールを開始する前の画面に戻ります。

あるいは

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

個別コール発信

許可した個別の無線機が開始した個別コールの受信や応答を行うには、お使いの無線機が個別コールを開始できるようにプログラムされている必要があります。

個別コールには 2 種類あります。1 つは、通話設定の前に無線機プレゼンスチェックが行われる場合で、もう 1 つは通話を即座に設定するものです。

ディーラーは、これらの通話タイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

この機能が無効である場合に、連絡先リスト、通話履歴、**ワンタッチアクセス** ボタン、またはプログラムされた数値キーから個別コールを試みると、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

メッセージまたはページング機能を使用して、個別の無線機に連絡します。詳しくは、69 ページの「**メッセージ機能**」または 62 ページの「**ページング操作**」を参照してください。

手順:

- 1 アクティブな個別のエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。24 ページの「**チャンネル選択**」を参照してください。
あるいは
プログラムされた**ワンタッチアクセス** ボタンを押します。
- 2 応答するには、無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持します。

3 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯し、無線機の消音が解除され、応答が無線機のスピーカーから聞こえます。個別コールアイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

4 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

5 **PTT** ボタンを離して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。

6 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**PTT** ボタンを押して応答します。

あるいは

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

7 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

注：無線機が通話を設定しているときに、**PTT** ボタンを離すと、無線機は通知なしに前の画面に戻ります。

個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムすることができます。相手先無線機が利用不可であれば、短いトーンが鳴り、負のミニ通知がディスプレイに表示されます。

📄 一斉コールの発信

この機能により、チャンネルのすべてのユーザーに送信できます。この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

手順：

1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。24 ページの「**チャンネル選択**」を参照してください。

2 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。

3 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。グループコールアイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目に、[いっせいコール] と表示されます。

4 通話許可トーンが完了するまで待機し(有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

チャンネルのユーザーは一斉コールに応答することはできません。

📞 ワンタッチ アクセス ボタンを使用した通話

手順:

1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押し、事前に定義されたエイリアスまたは ID にコールします。

ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイには [アクセスコード:] と表示されます。アクセス コードを入力し、**☎** を押して先に進みます。

2 LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

3 正常に行われた場合:

DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわ NG] と表示されます。無線機はアクセス コード入力画面に戻ります。

アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

4 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。

5 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。通話中に要求されて、さらに数字を入力するには: キーパッドを使用して追加の数字を入力し、**☎** を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。

6 通話を終了するには **☎** を押します。

アクセス解除コードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイには [ディアクセスコード:] と表示されます。アクセス解除コードを入力し、**☎** を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。

あるいは

ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。

7 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。

8 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。

あるいは


正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。

ステップ 6 と 7 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに[コールしゅうりょう]と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で**ワンタッチ アクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

アクセス コードまたはアクセス解除コードは、10 文字以上に設定できません。

プログラム可能な数値キーを使用して、グループ、個別、または一斉コールを実行する

プログラミング可能な数値キー機能では、グループ、個人、またはすべてのコールを定義済みのエイリアスまたは ID に簡単に実行できます。この機能は、キーパッドで利用可能な数値キーすべてに割り当てられます。

各数値キーに割り当てられるのは、1 つのチャンネル非依存性エイリアスまたは ID **のみ**ですが、エイリアスまたは ID には複数の数値キーを割り当てられます。

手順:

ホーム画面が表示されている場合:

- 1 プログラミング済みの数値キーの長押しでは、グループ、個人、または一斉コールを定義済みのエイリアスまたは ID にします。数値キーがエントリに割り当てられていない場合、ネガティブインジケータ トーンが聞こえます。
- 2 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 3 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯し、無線機の消音解除され、応答が無線機のスピーカーから聞こえます。グループ/個別コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、発信者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、個別コールの場合は通話ステータスが表示され、一斉コールの場合は [いっせい コール] が表示されます。
- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 5 **PTT** ボタンを離して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音解除され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 6 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**PTT** ボタンを押して応答します。

あるいは

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 7 無線機は、コールを開始する前の画面に戻ります。

個別コールの場合は、コール終了時に短い音が聞こえます。

キーパッドを使用して、エントリを数値キーに割り当てる詳細については、54 ページの「プログラミング可能な数値キーにエントリを割り当てる」を参照してください。

📄 プログラム可能な通話ボタンで通話を行う

手順:

- 1 プログラムされた通話ボタンを押すと、通話エントリ リストが表示されます。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要な加入者に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [アクセスコード:] と表示されます。アクセスコードを入力し、**Ⓜ** を押して先に進みます。
- 3 LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

- 4 正常に行われた場合:
DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわNG] と表示されます。無線機はアクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 5 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
 - 6 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。
通話中に要求されて、さらに数字を入力するには:
キーパッドを使用して追加の数字を入力し、**Ⓜ** を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。
 - 7 通話を終了するには **⏏** を押します。
アクセス解除コードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [ディアクセスコード:] と表示されます。アクセス解除コードを入力し、**Ⓜ** を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。
- あるいは
ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

8 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつたん] と表示されます。

9 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。

あるいは


正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 6 と 7 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で PTT ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに [コールするには OK をおしてください] と表示されます。


電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。


通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で **ワンタッチアクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。


アクセス コードまたはアクセス解除コードは、10 文字以上に設定できません。

 **プログラム可能なダイヤル ボタンで通話を行う**

 **個別コール発信**

手順:

1 プログラムされた **ダイヤル** ボタンを押して、ダイヤル画面を表示します。

2 ▲ または ▼ を押して [むせん リスト] に移動し、 を押して選択します。

3 ディスプレイに [ばんごう:] と表示されます。キーパッドを使用して、加入者のエイリアスを入力します。

4 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。

5 PTT ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。個別コール アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。


7 PTT ボタンを離して聞きます。ターゲットの無線機が応答すると、LED がグリーン点滅します。

- 8 チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が PTT ボタンを離れた瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。PTT ボタンを押して応答します。



あるいは

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 9 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

 **通話を行う**

手順:




- 1 プログラムされた**ダイヤル** ボタンを押して、ダイヤル画面を表示します。
- 2 ▲ または ▼ を押して [でんわ リスト] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイに [ばんごう:] と表示されます。キーパッドを使用して、加入者のエイリアスを入力します。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [アクセスコード:] と表示されます。アクセスコードを入力し、 を押して先に進みます。
- 4 LED が緑色に点灯します。通話アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、通話ステータスが表示されます。

- 5 正常に行われた場合:
DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の 1 行目には、加入者のエイリアスが表示されます。通話アイコンは引き続き右上端に表示されています。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわ NG] と表示されます。無線機はアクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 6 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
 - 7 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。通話中に要求されて、さらに数字を入力するには: キーパッドを使用して追加の数字を入力し、 を押して進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。
 - 8 通話を終了するには  を押します。アクセス解除コードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイには [ディアクセスコード:] と表示されます。アクセス解除コードを入力し、 を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。
- あるいは**
ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。**ワンタッチ アクセス** ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

9 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。

10 正常に行われた場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。

あるいは


正常に行われなかった場合:

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 6 と 7 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で PTT ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに [コールするには OK をおしてください] と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [コールしゅうりょう] と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

チャンネルアクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態で **ワンタッチ アクセス** ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

アクセス コードまたはアクセス解除コードは、10 文字以上に設定できません。

■ 無線通話の停止

この機能により、現在進行中のグループまたは個別コールを停止し、送信のためにチャンネルを解放することができます。たとえば、ユーザーが気づかずに PTT ボタンを押してしまう「スタック マイク」の状態にある場合に、この機能を使うことができます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

手順:

必要なチャンネル上で:

- 1 プログラムされた [リモート送信解除] ボタンを押します。
- 2 ディスプレイに [リモートストップ] と表示されます。
- 3 承認を待ちます。
- 4 無線機がポジティブ インジケータ トーンを鳴らし、ディスプレイに [リモートストップかんりょう] と表示されます。これはチャンネルが解放されていることを示しています。
あるいは
無線機がネガティブ インジケータ トーンを鳴らし、ディスプレイに [リモートストップしっぱい] と表示されます。

無線機から発信されている通話が、この機能による割り込みが可能な通話である場合、ディスプレイに [つうわりこみ] と表示され、無線機は PTT ボタンを放すまでネガティブ インジケータ トーンを鳴らします。

■ ダイレクトモード

リピーターが作動していない場合や、お使いの無線機がリピーターの圏外にある場合でも、他の無線機が通話範囲内にあれば通信を継続できます。

これが「ダイレクトモード」と呼ばれる機能です。

注：この機能はキャパシティ プラスおよびリンクド キャパシティ プラスでは利用不可です。

手順：

プログラムされた [リピーター/ダイレクトモード] ボタンを押して、ダイレクトモードとリピーター モード間を切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して、[ダイレクト モード] に移動します。**▼** を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 **▲** または **▼** を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 **▲** または **▼** を押して、[ダイレクト モード] に移動します。

- 5 **Ⓜ** を押してダイレクトモードをオンにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に **✓** が表示されます。

あるいは

- 5 **Ⓜ** を押してダイレクトモードをオフにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から **✓** が消えます。

- 6 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

電源が切れた後も、ダイレクトモード設定が保持されます。

注：ステップ 4 で、**◀** または **▶** を使用して選択したオプションを変更することもできます。

■ モニタ機能

📄 チャンネルのモニタ

モニタ機能を使って、送信前にチャンネルが空いていることを確かめます。

注：この機能はキャパシティ プラスおよびリンクド キャパシティ プラスでは利用不可です。

手順：

- 1 プログラムされた **[モニタ]** ボタンを押し続け、アクティビティを聞きます。
- 2 ステータスバーにモニタ アイコンが表示され、LED が黄色に点灯します。
- 3 お使いの無線機のプログラムに応じて、無線機アクティビティが聞こえるか、あるいは何も聞こえません。
- 4 「許可トーン」が聞こえる場合（つまり、そのチャンネルは使用されていない場合）、**PTT** ボタンを押して話し、ボタンを放して聞きます。

📄 ステツキィ モニタ

連続モニタを使って、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタします。

注：この機能はキャパシティ プラスおよびリンクド キャパシティ プラスでは利用不可です。

手順：

- 1 プログラムされた **[ステツキィ モニタ]** ボタンを押します。
- 2 無線機が警告トーンを発します。LED が黄色く点灯し、ディスプレイに **[れんぞくモニタ オン]** と表示されます。ステータスバーにモニタのアイコンが表示されます。
- 3 プログラムされた **[れんぞくモニタ]** ボタンを押し、連続モニタ モードを終了します。
- 4 無線機が警告トーンを発します。LED が消灯し、ディスプレイに **[れんぞくモニタ オフ]** と表示されます。

高度機能

このナビゲーションガイドを使って、お使いの無線機で利用可能な高度な機能について詳しく学びましょう。

無線機チェック	40 ページ
リモート モニタ	42 ページ
スキャン リスト	43 ページ
スキャン	47 ページ
連絡先設定	49 ページ
通話インジケータ設定	56 ページ
通話履歴機能	60 ページ
ページング操作	62 ページ
緊急操作	63 ページ
メッセージ機能	69 ページ
ワーク チケット	81 ページ
プライバシー	83 ページ
ステルス モード	84 ページ
デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF)	84 ページ
複数サイト コントロール	85 ページ
セキュリティ	87 ページ
ローン ワーカー	89 ページ
パスワード ロック機能	90 ページ
ブルートゥース動作	92 ページ

通知リスト	97 ページ
OTA (無線) プログラミング (OTAP)	98 ページ
公共事業	98 ページ

■ 無線機チェック

有効である場合、この機能を使用することで、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、その無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。相手先の無線機には、音声や映像による通知は行われません。

📄 無線機チェックの送信

手順:

プログラムされた **[むせんき チェック]** ボタンを使用します。

- 1** プログラムされた **[むせんき チェック]** ボタンを押します。
- 2** ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3** ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。
- 4** 承認を待ちます。

- 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

- 6 加入者のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1 **[OK]** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、**[OK]** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

以前にダイヤルした ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して ID を編集します。**[OK]** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。加入者のエイリアスまたは ID を入力し、**[OK]** を押します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんき チェック] に移動し、**[OK]** を押して選択します。

- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。

- 6 承認を待ちます。

- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

- 8 加入者のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

無線機が承認待ちのときに **[END]** ボタンを押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェック モードを終了します。

■ リモート モニタ

リモート モニタ機能を使用して、相手先の無線機のマイクをオンにします (加入者のエイリアスまたは ID のみ)。相手先の無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能を使用することで、相手先無線機の周りのあらゆる音声アクティビティを遠隔でモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

📄 リモート モニタの開始

手順:

プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LED が緑色に点灯します。
- 4 承認を待ちます。

- 5 成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。無線機は、プログラムされた期間、モニタ対象無線機からの音声の再生を開始し、ディスプレイに [きょうせいモニタ] と表示されます。タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

あるいは

失敗の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、**(M)** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**(M)** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**(M)** を押して選択します。

以前にダイヤルした ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して ID を編集します。**(M)** を押して選択します。

あるいは

▲または▼を押して[ダイヤル]に移動し、**(M)**を押して選択します。

▲または▼を押して[むせん ID]に移動し、**(M)**を押して選択します。

ディスプレイの1行目に[むせん ID:]と表示されます。ディスプレイの2行目には点滅するカーソルが表示されます。加入者のエイリアスまたはIDを入力し、**(M)**を押して選択します。

4 ▲または▼を押して[きょうせいモニタ]に移動し、**(M)**を押して選択します。

5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。LEDが緑色に点灯します。

6 承認を待ちます。

7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。無線機は、プログラムされた期間、モニタ対象無線機からの音声の再生を開始し、ディスプレイに[きょうせいモニタ]と表示されます。

タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、LEDが消灯します。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイにミニ通知が表示されます。

■ スキャン リスト

スキャン リストは、個別チャンネルに対して作成され、割り当てられます。現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを無線機が循環し、音声アクティビティを検索します。サイクルの各チャンネルでは、無線機がグループリストも循環し、そのチャンネルを検索します。

無線機は最大 250 のスキャン リストをサポートできます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。

スキャン リストを編集して、チャンネルの追加、削除、または優先順位付けを行えます。

正面パネル プログラミングからは、新しいスキャン リストを無線機に追加することができます。

注: この機能はキャパシティ プラスおよびリンクド キャパシティ プラスでは利用不可です。

📄 スキャン リスト内のエントリの表示

手順:

1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。

2 ▲または▼を押して[スキャン]に移動し、**(M)**を押して選択します。

3 ▲または▼を押して[リストへんしゅう]に移動し、**(M)**を押して選択します。






4 ▲または▼を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

メンバーのエイリアスの左に優先度アイコンが表示されます(設定されている場合)。これは、メンバーが優先度 1 または優先度 2 のチャンネルリストに含まれているかどうかを示します。スキャン リストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。

優先度をなしに設定すると優先度アイコンは表示されません。

📁 エイリアス検索を使用したスキャン リストへのエントリの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [リストへんしゅう] に移動し、 を押して選択します。
- 4 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
- 5 点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、必要なエイリアスを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
 を押して、不要な文字を削除します。
 を長押しして、テキスト入力方法を変更します。





- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの次の行には、ショートリスト検索結果が表示されます。

エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前で 2 つ以上のエントリがある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。

📁 スキャン リストの編集

📁 スキャン リストへの新規エントリの追加

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [リストへんしゅう] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [メンバーついか] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ で必要なエイリアスまたは ID にアクセスし、ステップ 8 に進みます。
あるいは
必要なエイリアスの最初の文字を入力します。


- 6 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して、必要なエイリアスを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
[*←] を押して、不要な文字を削除します。
[5#] を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
- 7 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。
ディスプレイの次の行には、ショートリスト検索結果が表示されます。
エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前のエイリアスが 2 つ以上ある場合は、無線機には、リストで最初にリストされたエイリアスが表示されます。
- 8 [Ⓜ] を押して選択します。
- 9 ▲ または ▼ を押して必要な優先度にし、[Ⓜ] を押して選択します。
- 10 ディスプレイには、ミニ通知が表示され、その直後に [つか?] が表示されます。
- 11 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、[Ⓜ] を押して選択して、別のエントリを追加し、ステップ 5 ~ 9 を繰り返します。
あるいは
▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動し、[Ⓜ] を押して現在のリストを保存します。



📄 スキャン リストからのエントリの削除

手順:


- 1 [Ⓜ] を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] に移動し、[Ⓜ] を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [リストへんしゅう] に移動し、[Ⓜ] を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、ステップ 7 に進みます。
あるいは
必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
- 5 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して、必要なエイリアスを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
[*←] を押して、不要な文字を削除します。
[5#] を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
- 6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの次の行には、ショートリスト検索結果が表示されます。
エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前で 2 つ以上のエントリがある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。


7  を押して選択します。


8 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、 を押して選択します。


9 [エントリをさくじょしますか?] が表示されたら、▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、 を押してこれを選択して、エントリを削除します。ディスプレイにミニ通知が表示されます。
あるいは
▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動し、 を押して、前の画面に戻ります。


10 その他のエントリを削除するには、ステップ 4 ~ 9 を繰り返します。

すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長く押してホーム画面に戻ります。

 スキャン リスト内のエントリの優先度の設定と編集
手順:

1  を押してメニューにアクセスします。

2 ▲ または ▼ を押して [スキャン] に移動し、 を押して選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [リストへんしゅう] に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、ステップ 7 に進みます。


あるいは
必要なエイリアスの最初の文字を入力します。


5 点滅するカーソルが表示されます。

キーボードを使用して、必要なエイリアスを入力します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。


 を押して、不要な文字を削除します。


 を長押しして、テキスト入力方法を変更します。

6 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの次の行には、ショートリスト検索結果が表示されます。

エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前で 2 つ以上のエントリがある場合は、無線機には、スキャンリストで最初にリストされたエントリが表示されます。

7  を押して選択します。

8 ▲ または ▼ を押して [ゆうせんど] に移動し、 を押して選択します。

9 ▲ または ▼ を押して必要な優先度にし、 を押して選択します。

10 ディスプレイにミニ通知が表示され、その後に前の画面に戻ります。

11 優先度アイコンがメンバー名の左側に表示されます。

優先度をなしに設定すると優先度アイコンは表示されません。

■ スキャン

スキャンを開始すると、現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを無線機が循環し、音声アクティビティを検索します。黄色の LED が点滅し、スキャンアイコンがバーに表示されます。スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

- **スキャン ボタン (手動):** 自動スキャンが無効になっているチャンネルの場合、プログラムされたスキャン ボタンを使用してスキャンをオンおよびオフにできます。
- **自動スキャン (自動):** 自動スキャンが有効になっているチャンネルを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

注: この機能はキャパシティ プラスおよびリンクド キャパシティ プラスでは利用不可です。

📄 アクティブなスキャン リストの設定

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して [スキャン] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 **▲** または **▼** を押して [アクティブリスト] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 **▲** または **▼** を押して必要なリストに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

注: 選択したリストがアクティブなスキャン リストになります。

📄 スキャン開始と停止

手順:

プログラムされた **[スキャン]** ボタンを押して、スキャンを開始、または停止します。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して [スキャン] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 **▲** または **▼** を押して [スキャンちゅう] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 **▲** または **▼** を押して必要なスキャン状態に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 スキャンが有効であれば、ディスプレイに [スキャン オン] と表示されます。黄色の LED が点滅し、スキャンアイコンが表示されます。
あるいは
スキャンが無効であれば、ディスプレイに [スキャン オフ] と表示されます。LED が消灯し、スキャンアイコンは非表示になります。

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ (テキスト メッセージ、位置情報、PC データなど) の受信のみを行います。

📄 スキャン中の送信への応答

スキャン中、お使いの無線機は、無線機を対象とするアクティビティ（グループコールなど）が検知されたチャンネルで停止します。無線機の消音が解除され、着信通話の音は無線機のスピーカーから聞こえます。

無線機は、アクティビティが存続する間、またアクティビティが終了した後も「ハングタイム」と呼ばれるプログラムされた時間だけ、そのチャンネルにとどまります。

手順:

- 1 無線機を口から 1～2 インチ (2.5～5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。
- 2 ハングタイム中に PTT ボタンを押します。LED が緑色に点灯します。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し（有効な場合）、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 4 PTT ボタンを離して聞きます。
- 5 ハングタイム中に応答しないと、無線機は他のチャンネル/グループのスキャンに戻ります。

📄 迷惑チャンネルの削除

特定のチャンネルが不要な通話やノイズ（「迷惑」チャンネルと称する）を作成し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除することができます。

この機能は、選択チャンネルとして指定されたチャンネルには適用されません。

手順:

- 1 無線機が不要あるいは迷惑チャンネルに「ロック」されたら、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンをトーンが聞こえるまで押します。
- 2 [迷惑チャンネル削除] ボタンを離します。迷惑チャンネルが削除されます。

「迷惑」チャンネルの削除は、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンからのみ行えます。この機能は、メニューからはアクセスできません。

📄 迷惑チャンネルの復元

手順:

削除された迷惑チャンネルを復元するには、以下のいずれかを行ってください:

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。
- プログラムされた [スキャン] ボタン、またはメニューでスキャンを停止し、再開します。または
- チャンネルまたはゾーンを変更します。

■ 連絡先設定

連絡先は、無線機の「アドレス帳」機能です。各エントリは、通話の発信先とするエイリアスまたは ID に対応します。

各エントリは、コンテキストに応じて、次に示す 5 タイプのコールの**いずれか**とアソシエートします。グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコール。

PC コールとディスパッチコールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合のみ利用できます。詳細については、データアプリケーションのマニュアルを参照してください。

注：あるチャンネルでプライバシー機能が有効であれば、そのチャンネルで、プライバシーが有効であるグループコール、個別コール、およびすべてのコールを行えます。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同じキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。詳しくは、83 ページの「**プライバシー**」を参照してください。

その他、連絡先メニューでは、各エントリを、キーパッド上の 1 つ以上のプログラミング可能な数値キーに割り当てることができます。1 つのエントリが 1 つの数値キーに割り当てられると、無線機はそのエントリに対してクイックダイヤルを実行します。

お使いの無線機は、最大 1000 の連絡先リストエントリをサポートします。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- 通話タイプ
- 通話エイリアス
- 通話 ID

注：デジタル連絡先リストの加入者 ID の追加または編集を行うことができます。

📁 連絡先からのグループコール発信

手順：

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して [れんらくさき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 **▲** または **▼** を押して必要なグループエイリアスまたは ID に移動します。
- 4 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 5 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯し、無線機の消音解除され、応答が無線機のスピーカーから聞こえます。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

7 **PTT** ボタンを離して聞きます。グループ内の任意のユーザーが応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音が無効化され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。ディスプレイに、グループコールのアイコン、グループ ID、およびユーザーの ID が表示されます。

8 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**PTT** ボタンを押して応答します。

あるいは

プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

📞 連絡先からの個別コール発信

手順:

- 1 **(F)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**(F)** を押して選択します。エントリーはアルファベット順にソートされます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動します。
あるいは
▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**(F)** を押して選択します。
▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**(F)** を押して選択します。

以前にダイヤルした加入者のエイリアスまたは ID が存在する場合、そのエイリアスまたは ID と、点滅するカーソルが表示されます。

キーパッドを使用して ID を編集します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**(F)** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**(F)** を押して選択します。

ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、新しい加入者のエイリアスまたは ID を入力します。


- 4 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 5 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。1 行目に、加入者のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、[こべつ コール] と個別コールアイコンが表示されます。
- 6 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 7 **PTT** ボタンを離して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、ディスプレイに送信ユーザーの ID が表示され、無線機の消音が無効化され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。





- 8 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。PTT ボタンを押して応答します。

あるいは

プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。



- 9 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。

 **連絡先から通話を行う****手順:**

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動します。
あるいは
▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動し、 を押して選択します。
▲ または ▼ を押して [📞ばんごう] に移動し、 を押して選択します。
ディスプレイの 1 行目に [📞ばんごう:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して、電話番号を入力します。

- 4  を押して選択します。

選択したエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに [つうわむこう #] と表示されます。

- 5 ▲ または ▼ を押して [つうわ] に移動し、 を押して選択します。
アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイの 1 行目に [アクセス コード:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

- 6 ディ스플레이の 1 行目に [よびだしちゅう] と表示されます。ディスプレイの 2 行目に加入者のエイリアスまたは ID、および通話アイコンが表示されます。

- 7 正常に行われた場合:

DTMF トーンが鳴ります。電話ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。ディスプレイの 1 行目に加入者のエイリアスまたは ID、および RSSI アイコンが表示されます。ディスプレイの 2 行目に [でんわ] および通話アイコンが表示されます。

あるいは

正常に行われなかった場合:

トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわNG] と表示されます。無線機はアクセス コード入力画面に戻ります。アクセス コードが連絡先リストで事前に設定されている場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 8 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 9 PTT ボタンを押して話し、離して聞きます。送信中は RSSI アイコンが消えます。
通話中に要求されて、さらに数字を入力するには：
キーパッドを押し、追加の数字の入力を始めます。ディスプレイの 1 行目に [つかケタ:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。追加の数字を入力し、**[OK]** を押して先に進みます。DTMF トーンが鳴り、無線機は前の画面に戻ります。
あるいは
ワンタッチ アクセス ボタンを押します。DTMF トーンが鳴ります。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 10 通話を終了するには **[END]** を押します。
アクセスコードが連絡先リストで事前に設定されていなかった場合、ディスプレイの 1 行目に [ディアクセスコード:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。アクセス解除コードを入力し、**[OK]** を押して先に進みます。無線機は前の画面に戻ります。
- 11 DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわせつだん] と表示されます。
- 12 正常に行われた場合：
トーンが鳴り、ディスプレイに [でんわしゅりょう] と表示されます。無線機は通話画面に戻ります。

あるいは

正常に行われなかった場合：

無線機は通話画面に戻ります。ステップ 10 と 11 を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

通話連絡先画面で PTT ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに [コール>OK] と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに [でんわしゅりょう] と表示されます。

通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、無線機はそのコールを開始する前の画面に戻ります。

チャンネルアクセス中に **[END]** を押すと、コール試行が解除され、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。無線機は通話画面に戻ります。

コール中、アクセス解除コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてアクセス解除コードを入力すると、無線機はコールを終了しようとします。

チャンネルアクセスおよびアクセス/アクセス解除コードまたは追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ/音量コントロールノブおよびチャンネルセレクターノブにのみ応答します。入力するたびにトーンが鳴ります。

アクセスコードまたはアクセス解除コードは、10 文字以上に設定できません。

📄 エイリアス検索による通話発信



エイリアスや英数字検索を使用して、必要な加入者エイリアスを取得することもできます。

この機能は、連絡先でのみ利用できます。

手順：

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **▲** または **▼** を押して [れんらくさき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 必要なエイリアスの最初の文字を入力します。
- 4 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して、必要なエイリアスを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
✖ を押して、不要な文字を削除します。
Ⓜ# を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
- 5 ディスプレイの 1 行目に、入力した文字が表示されます。ディスプレイの次の行には、ショートリスト検索結果が表示されます。
エイリアス検索には大文字と小文字の区別があります。同じ名前前のエントリが 2 つ以上ある場合は、無線機には、連絡先リストで最初にリストされたエントリが表示されます。

- 6 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 7 **PTT** ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯します。宛先のエイリアスが表示されます。
- 8 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 9 **PTT** ボタンを離して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音解除され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 10 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。**PTT** ボタンを押して応答します。
あるいは
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 11 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには [コールしゅうりょう] と表示されます。





注：エイリアス検索を終了するには、 ボタンまたは  を押します。


無線機が通話を設定しているときに、PTT ボタンを離すと、無線機は通知なしに前の画面に戻ります。

個別コールを設定する前に、無線機プレゼンス チェックを実行するように無線機をプログラムすることができます。相手先無線機が利用不可であれば、短いトーンが鳴り、負のミニ通知がディスプレイに表示されます。

プログラミング可能な数値キーにエントリを割り当てる


手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して無線機の名前/エイリアスを選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [キープログラム] に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ で必要な数値キーに進み、 を押して選択します。

あるいは

数値が現在別のエントリに割り当てられている場合、ディスプレイに [キーはすでにわりあてずみ] が表示され、ディスプレイの 1 行目には、[うわがきしますか?] と表示されます。

▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、 を押して選択します。

6 無線機からはポジティブインジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイにはミニ通知が表示されます。

7 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

注：各エントリは、さまざまな数値キーに割り当てられます。各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが [なし] の前にある場合、数値キーがエントリに割り当てられていません。数値キーがキャパシティ プラスまたはリンクドキャパシティリンクのエントリに割り当てられている場合、従来のモードで数値キーを長く押すと、この機能はサポートされません (逆も同様です)。

プログラミングされた数値キーによるグループ、個別、またはすべてのコールの詳細については、33 ページの「プログラミング可能な数値キーを使用して、グループ、個別、または一斉コールを実行する」を参照してください。

📄 エントリとプログラミング可能な数値キー間のアソシエーションの削除

手順:

必要なエイリアスまたは ID において、プログラミング可能な数値キーを長押しして、次に **(M)** を押して選択し、ステップ4に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**(M)** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [キー プログラム] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [なし] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 6 ディスプレイの1行目には、[ぜんキーからさくじよしますか?] と表示されます。
- 7 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、**(M)** を押して選択します。

8 無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイにはミニ通知が表示されます。

9 画面は前のメニューに自動的に戻ります。


注: エントリが削除されたら、エントリとそのプログラミングされた数値キー間のアソシエーションは、削除されます。

📄 新規登録

手順:








以下に示す手順を実行します。

- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [しんきとうろく] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要な連絡先タイプ、[むせん リスト] または [でんわ リスト] のいずれかに移動し、**(M)** を押して選択します。
- 5 キーパッドを使用して連絡先番号を入力し、**(M)** を押して確認します。
- 6 キーパッドを使用して連絡先の名前を入力し、**(M)** を押して確認します。

- 7 連絡先を追加しているとき、▲ または ▼ を押して必要な着信音タイプに移動し、 を押して選択します。
- 8 無線機からはポジティブ インジケータ トーンが聞こえ、ディスプレイには正のミニ通知が表示されます。

連絡先へのメッセージの送信

手順:








- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[れんらくさき]に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[しんき とうろく]に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要な連絡先タイプ、[むせん リスト] または [でんわ リスト] のいずれかに移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動し、 を押して選択します。
- 6 ▲ または ▼ を押して[メッセージそうしん]に移動し、 を押して作成します。
- 7  を押してメッセージを送信します。

■ 通話インジケータ設定

ページング用着信音のオンとオフの切り替え

受信ページングの着信音を選択したり、オンとオフを切り替えたりすることができます。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[せってい]に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[きのうせってい]に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して[トーン/アラート]に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して[ちゃくしんおん]に移動し、 を押して選択します。
- 6 ▲ または ▼ を押して[ページング]に移動し、 を押して選択します。現在のトーンは✓で示されます。
- 7 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動し、 を押して選択します。選択したトーンの隣に✓が表示されます。

注: ステップ6で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

個別コール用着信音のオン、オフの切り替え

受信した個別コールの着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 **[F1]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[▲]** または **[▼]** を押して [せってい] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 3 **[▲]** または **[▼]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 4 **[▲]** または **[▼]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 5 **[▲]** または **[▼]** を押して [ちゃくしんおん] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 6 **[▲]** または **[▼]** を押して [こべつコール] に移動します。
- 7 **[F1]** を押して、個別コールの着信音を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に **✓** が表示されます。
あるいは
[F1] を押して、個別コールの着信音を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から **✓** が消えます。

注: ステップ6で、**[▲]** または **[▼]** を使用して選択したオプションを変更することもできます。

テキストメッセージ用着信音のオンとオフの切り替え

受信したメッセージの着信音について、選択したり、オンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 **[F1]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[▲]** または **[▼]** を押して [せってい] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 3 **[▲]** または **[▼]** を押して [きのうせってい] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 4 **[▲]** または **[▼]** を押して [トーン/アラート] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 5 **[▲]** または **[▼]** を押して [ちゃくしんおん] に移動し、**[F1]** を押して選択します。
- 6 **[▲]** または **[▼]** を押し、**[F1]** を押して選択します。現在のトーンは **✓** で示されます。
- 7 **[▲]** または **[▼]** を押して必要な設定に移動し、**[F1]** を押して選択します。選択したトーンの隣に **✓** が表示されます。

📄 着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先からページングやメッセージを受信すると、事前定義された 10 個の着信音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ/へんしゅう] に移動し、**Ⓜ** を押します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [ちゃくしんおん] に移動し、**Ⓜ** を押します。
- 6 ▲ または ▼ を押して必要な着信音スタイルに移動し、**Ⓜ** を押します。
- 7 現在のトーンは ✓ で示されます。
- 8 ▲ または ▼ を押して必要な設定に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。選択したトーンの隣に ✓ が表示されます。
- 9 ディスプレイには [れんらくさきほぞんずみ] と表示されます。

リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

📄 すべてのトーン

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 [きのうせってい] に移動します。[トーン/アラート] を選択します。[ぜん トーン] を選択します。有効または無効にするには、[ぜん トーン] を切り替えます。

📄 アラート音タイプ選択

無線機通話を、事前設定したマナー通話となるようにプログラムできます。

[ぜん トーン] ステータスが無効である場合、[全トーン消音] アイコンが表示されます。[ぜん トーン] ステータスが有効である場合、関連するアラート音タイプが表示されます。

以下に示す手順を実行します。




- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 [きのうせってい] に移動します。[トーン/アラート] を選択します。[アラートおんタイプ] を選択します。4 つの設定、[めいおん]、[パイプ]、[めいおん & パイプ]、または [サイレント] から選択します。


瞬時着信音スタイルである場合は、1つのバイブが動作します。繰り返し着信音スタイルである場合は、バイブが繰り返して動作します。[めいおん&バイブ]に設定されている場合、受信トランザクション(ページング、メッセージ、ワーク チケットなど)があると、特定の着信音が鳴ります。これは、グッドキートーンまたは不在着信に似ています。通知リストが空でない場合、5分ごとにバイブが繰り返されます。

警告トーンの音量を上げる


無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。時間が経つ毎に警告トーンが自動的に大きくなるようになっていきます。この機能はステップアラート (Escalert) として知られています。

手順:


- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。

4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動し、 を押して選択します。

5 ▲ または ▼ を押して [ステップアラート] に移動します。

6  を押してステップアラートを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

 を押してステップアラートを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注: ステップ5で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

■ 通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。通話履歴機能を使用して、最近の通話を表示して管理します。




各通話リストでは以下のタスクを実行できます。

- 連絡先への ID の格納
- 削除
- 詳細の表示

📄 最近の通話の表示

リストは[ふざいちゃくしん]、[へんとうずみ]、および[はっしん]です。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [つうわりれき] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストを表示し、 を押して選択します。
- 4 ディスプレイには、最近のエントリがリストの最初に表示されます。
- 5 ▲ または ▼ を押して、リストを表示します。



PTT ボタンを押して、現在選択されているエイリアスまたは ID に個別コールを開始します。

📄 不在着信

通話に応答できなかった場合、通知リストに不在通話メッセージが表示されます。





注：不在通話番号が表示された状態で、PTT ボタンを押すと、無線機は個別コールを開始します。

手順:

- 1 ディスプレイには [ふざいちゃくしん] と表示されます。
- 2  を押して、不在通話 ID を表示します。ディスプレイに不在着信履歴リストが表示されます。
 を押して、エントリの格納や削除を行います。

📄 通話リストからのエイリアスの保管

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [つうわりれき] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して [ほかん] に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
 - 点滅するカーソルが表示されます。必要に応じて、当該 ID のエイリアスを入力し、**(Ⓜ)** を押します。
 - ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
- エイリアスなしで ID を格納することもできます。

通話リストからの通話の削除

手順:

- (Ⓜ)** を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して [つわりれき] に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [エントリをさくじよしますか?] に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- (Ⓜ)** を押して [はい] を選択してエントリを削除します。ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは

▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動して、前の画面に戻ります。

選択した通話リストにエントリが存在しない場合、ディスプレイに [リストにありません] と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (99 ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

通話リストからの詳細の表示

手順:

- (Ⓜ)** を押してメニューにアクセスします。
- ▲ または ▼ を押して [つわりれき] に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なリストに移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動し、**(Ⓜ)** を押して選択します。ディスプレイに詳細が表示されます。

■ ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になった際にかけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告することができます。

この機能は、加入者のエイリアスまたは ID にのみ適用され、連絡先または手動ダイヤルメニューからアクセスできます。

📄 ページングの受信と応答

ページング ページを受信すると、呼び出し元無線機のディスプレイにページングとエイリアスまたは ID がリストされた通知リストが表示されます。

手順:

- 1 繰り返しトーンが聞こえます。黄色の LED が点滅します。
- 2 通知リストにページングが表示されている間に PTT ボタンを押して、個別コールに応答します。
あるいは
[END] を押して、通知リストを終了します。警告は不在着信履歴に移動します。

通知リストの詳細については、97 ページの「通知リスト」を参照してください。

不在着信リストの詳細については、60 ページの「通話履歴機能」を参照してください。

📄 連絡先リストからのページング

手順:

- 1 [OK] を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、[OK] を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、[OK] を押して選択します。
あるいは
▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、[OK] を押して選択します。
▲ または ▼ を押して [むせん リスト] に移動し、[OK] を押して選択します。
ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。点滅するカーソルが表示されます。ページングの送り先加入者の ID を入力し、[OK] を押します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ページング] に移動し、[OK] を押して選択します。
- 5 ディスプレイには [ページング] と加入者のエイリアスまたは ID が表示され、ページングが送信されたことが示されます。
- 6 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。

7 ページング承認を受信すると、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

ページング承認を受信しない場合、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

📄 ワンタッチ アクセス ボタンを使用したページング

手順:

1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押し、事前に定義されたエイリアスまたは ID にページングします。

2 ディスプレイには [ページング] と加入者のエイリアスまたは ID が表示され、ページングが送信されたことが示されます。

3 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。

4 ページング承認を受信すると、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

ページング承認を受信しない場合、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

■ 緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使われます。いつでも、どの画面でも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始することができます。

ディーラーは、プログラミング済み緊急ボタンのボタン押しの長さを設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

緊急ボタンに、緊急オン/オフ機能を割り当てます。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。

緊急モードをオンにするために緊急短押しボタンを割り当てると、緊急長押しボタンは緊急モードの終了に割り当てられます。

緊急モードをオンにするために緊急長押しボタンを割り当てると、緊急短押しボタンは緊急モードの終了に割り当てられます。

お使いの無線機は、3つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

また、各警告には以下のタイプがあります：









- **レギュラー** – 無線機が警告シグナルを送信し、オーディオおよび視覚的インジケータを示します。
- **サイレント** – オーディオあるいは視覚的インジケータなしに、無線機が警告シグナルを送信します。無線機がコールを受信する際、そのスピーカーから音が聞こえません。コールを開始するには、PTT ボタンを押します。
- **音声つきサイレント** – 無線機は、オーディオまたは視覚的インジケータなしに、アラーム信号を転送しますが、着信コールの音は無線のスピーカーから聞こえます。

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムした緊急ボタンに割り当てることができます。

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信すると、緊急アイコンが表示され、トーンが鳴り、赤色の LED が点滅し、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。複数のアラームが発生した場合、アラームリストにすべての緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。

手順：

- 1 1つの緊急通話エイリアスが表示されている場合、 を押して詳細を表示します。再度  を押すと、捜査の詳細が表示されます。
あるいは
アラーム リストに複数の緊急通話送信者のエイリアスが表示された場合は、 または  を押して必要なエイリアスに移動し、 を押して詳細を表示します。再度  を押すと、操作項目が表示されます。
- 2 アラーム リストを終了するには、 を押して [はい] を選択します。
アラーム リストに再度アクセスするには、 を押してメニューにアクセスし、[アラーム] を選択します。

📄 緊急アラームへの応答

手順:

緊急アラームの受信時:

- 1 アラーム リストで、▲ または ▼ を押して必要なエイリアスに移動します。
- 2 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。
- 3 緊急アラームのターゲットであった同じグループに緊急でない音声を転送するには、PTT ボタンを押します。LED が緑色に点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。
- 4 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。
- 5 PTT ボタンを離して聞きます。緊急を通知した無線機が応答すると、緑色の LED が点滅し、無線機の消音が解除され、応答は無線機のスピーカーから聞こえます。ディスプレイに、グループ コールのアイコン、グループ ID、および送信無線機の ID が表示されます。
- 6 アラーム リストが無線機に表示されます。

緊急音声を転送できるのは、緊急起動無線だけです。その他の無線 (緊急受信無線を含む) は、緊急以外の音声を転送します。

📄 緊急アラームの送信

この機能では、緊急アラーム (つまり音声以外の信号) を送信します。これにより、無線機グループにアラートを通知します。

手順:

- 1 プログラミング済み**緊急オン** ボタンを押します。
- 2 [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色で点滅します。ディスプレイには [アラーム そうしん] と表示されます。
あるいは
お使いの無線機が緊急アラーム承認を受信しないまますべての試行回数を終えると、トーンが鳴り、ディスプレイに [アラーム NG] と表示されます。
- 4 無線機は緊急アラーム モードを終了し、ホーム画面に戻ります。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にはオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

☐ 通話による緊急アラームの送信

この機能では、緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内で無線機による確認応答があり次第、無線機グループはプログラミング済みの緊急チャンネルで通信します。

手順:

- 1 プログラミング済み**緊急オン** ボタンを押します。
- 2 [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色で点滅します。ディスプレイには[アラーム そうしん]と表示されます。
- 4 ディスプレイに[きんきゅう]と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。
- 5 無線機を口から 1 ~ 2 インチ (2.5 ~ 5.0 cm) 離して垂直方向に保持してください。
- 6 PTT ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯し、ディスプレイにグループアイコンが表示されます。
- 7 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話してください。

- 8 PTT ボタンを離して聞きます。
グループ コールを受信すると、ディスプレイに発信者のエイリアスとグループのエイリアスが表示され、無線機の消音が解除され、グループ コールの応答は無線機のスピーカーから聞こえます。
- 9 チャンネルがフリーで応答可能であれば、短い警告トーンが聞こえます (チャンネル フリー通知機能が有効な場合)。PTT ボタンを押して応答します。
あるいは
コールが終了したら、**緊急オフ** ボタンを押して、緊急モードを終了します。
- 10 無線機はホーム画面に戻ります。

無線機がサイレントに設定されると、緊急モードで、オーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。あるいは、無線機のスピーカーから受信コールは聞こえません。コールを開始するには、PTT ボタンを押します。

無線機が音声付きのサイレントに設定されると、緊急モードでオーディオまたは視覚的インジケータは表示されませんが、無線機のスピーカーから着信コールが聞こえます。PTT ボタンを押して通話を開始または応答して初めて、インジケータが表示されます。

📄 音声ガイドおよび緊急アラームの送信

この機能では、緊急アラームを無線機グループに送信します。無線機のマイクは、自動的に有効になり、PTT ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。

このアクティブな状態のマイクを「ホット マイク」と呼びます。

無線機で緊急サイクル モードが有効の場合、プログラムされた期間、ホット マイクと受信時間が繰り返されます。

注：緊急サイクル モード中は、受信コールの音は無線機のスピーカーから聞こえます。

プログラムされた受信時間中に PTT ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、PTT ボタンを離す必要があるという意味です。無線機は、PTT が押されたことを無視して緊急モードを保ちます。

注：ホット マイク中に PTT ボタンを押し、ホット マイクの期限が切れた後も押し続けると、PTT ボタンを離すまで無線機は送信を続けます。

手順：

- 1 プログラミング済み**緊急オン** ボタンを押します。
- 2 [Tx アラーム] および宛先のエイリアスが表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。

3 ディスプレイに[アラーム そうしん]と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。ホット マイクが有効になると、ホット マイクが期限切れになるまで、PTT を押さなくても無線機が自動的に送信します。
送信中、LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。

4 次のような場合、無線機は自動的に送信を終了します。ホット マイクと受信コール間のサイクルの期限が切れると、緊急サイクルモードが有効になる場合。
あるいは
ホット マイクの期限が切れると、緊急サイクル モードが無効になる場合。

5 再び送信するには、PTT ボタンを押します。
あるいは
プログラムされた**緊急オフ** ボタンを押して、緊急モードを終了します。

6 無線機はホーム画面に戻ります。

無線機がサイレントに設定されると、緊急モードで、オーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。あるいは、無線機のスピーカーから受信コールが聞こえません。プログラミング済みのホット マイク転送時間が終了したら、PTT ボタンを押します。

無線機が音声付きのサイレントに設定されると、ホットマイクでコールしても、緊急モードでオーディオまたは視覚的インジケータは表示されません。ただし、プログラミング済みホットマイクの転送時間が終了して、ターゲット無線機が応答すると、無線機のスピーカーから音が聞こえます。PTT ボタンを押して初めて、インジケータが表示されます。

注：緊急アラームのリクエストに失敗したら、無線機はそのリクエストを再送信せず、ホットマイクのステータスを直接入力します。

📄 緊急モードの再開

注：この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

この状況が起こるケースは2つあります：

- 無線機が緊急モードである間に、チャンネルを変更する場合があります。これにより、緊急モードが終了します。この新しいチャンネルで緊急アラームが有効になると、無線機は緊急を再開します。
- 緊急の起動/転送ステータス時に、プログラミング済み**緊急オン**ボタンを押します。これにより、無線機がこの状態を終了し、緊急を再開します。

📄 緊急モードの終了

注：この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

以下のいずれかが発生した場合、無線機は緊急モードを終了します：

- 緊急アラーム承認を受信した場合 (**緊急アラームの場合のみ**)、または
- 警告を送信するすべての再試行が無駄に終わった場合、または
- **緊急オフ** ボタンが押された場合。


注：無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れた際に、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

無線機が緊急モードであるときに、緊急システムが設定されていないチャンネルに変更すると、ディスプレイに [へいじょう] と表示されます。

■ メッセージ機能

無線機は、他の無線機や電子メールアプリケーションからメッセージなどのデータを受信できます。

件名の行(電子メールアプリケーションからのメッセージを受信すると表示される)を含むメッセージ送信の**最大長**は、**140**文字です。それに対して、受信の場合は280文字です。

注： ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。




メッセージの作成と送信

手順:


プログラムされた[メッセージ]ボタンを押して、ステップ3に進みます。


あるいは


以下に示す手順を実行します。


- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[メッセージ]に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[へんしゅう]に移動し、 を押して選択します。

- 4 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用してメッセージを入力します。
◀ を押して、スペース1つ分左側に移動します。


 を押して、不要な文字を削除します。

 を長押しして、テキスト入力方法を変更します。

- 5 メッセージが完成したら、 を押します。


- 6 ▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたはIDに移動し、 を押して選択します。


あるいは

▲ または ▼ を押して[ダイアル]に移動し、 を押して選択します。

加入者IDを入力し、 を押します。

あるいは

 を押してメッセージを編集します。

 を再度押して、メッセージを廃棄するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

- 7 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 8 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります (73 ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。

📁 クイック メッセージの送信

無線機はディーラーがプログラミングするクイック メッセージを最大 50 までサポートします。

クイック テキストは事前定義されていますが、送信前に各メッセージを編集できます。

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [クイックテキスト] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して必要なクイック テキストに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用してメッセージを編集します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ または **Ⓜ#** キーを押して、1 つのスペースを右側に移動します。
***<** を押して、不要な文字を削除します。
Ⓜ# を長押しして、テキスト入力方法を変更します。

- 6 メッセージが完成したら、**Ⓜ** を押します。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
あるいは
▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し **Ⓜ** を押します。
あるいは
↵ を押してメッセージを編集します。
↵ を再度押して、メッセージを廃棄するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

- 8 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

9 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、[さいそうしん]オプション画面に戻ります(73ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。

ワンタッチ アクセス ボタンでクイック メッセージを送信

手順:

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押して、事前に定義されたクイック メッセージを事前に定義されたエリアスまたは ID に送信します。
- 2 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 3 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信が失敗すると、[さいそうしん]オプション画面に戻ります(73ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。


下書きフォルダへのアクセス

下書きフォルダにメッセージを保存し、後でそのメッセージを送信できます。

PTT ボタンを押したり、モードの変更により、メッセージの作成や編集にメッセージの作成/編集画面から抜けてしまった場合、現在のメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

最近保存されたメッセージは、必ず下書きリストの一番上に追加されます。

下書きフォルダは、最大で 10 件の最近保存されたメッセージを格納します。フォルダが一杯であるときにメッセージを保存すると、フォルダの一番古いメッセージが削除されます。

注:  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。





保存されたメッセージの表示

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。

- ▲ または ▼ を押して [したがき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

保存されたメッセージの編集と送信

手順:

- メッセージの表示中に、**Ⓜ** を再度押します。
- ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。
キーボードを使用してメッセージを編集します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ または **Ⓜ** キーを押して、1 つのスペースを右側に移動します。
★← を押して、不要な文字を削除します。
Ⓜ を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
メッセージが完成したら、**Ⓜ** を押します。

- ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

加入者のエイリアスまたは ID を入力し、**Ⓜ** を押します。

- ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信に失敗すると、そのメッセージは送信済みアイテムフォルダに移動し、送信失敗アイコンでマークされます。

📁 下書きフォルダからの保存されたメッセージの削除

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 **▲** または **▼** を押して [メッセージ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 **▲** または **▼** を押して [したがき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 **▲** または **▼** を押して必要なメッセージに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 メッセージの表示中に、**Ⓜ** を再度押します。

- 6 **▲** または **▼** を押して [さくじょ] に移動し、**Ⓜ** を押してメッセージを削除します。

📁 送信失敗メッセージの管理

[さいそうしん] オプション画面では、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 再送信
- 次へ
- 編集

注: 現在のチャンネルタイプ (従来型デジタル、キャパシティ プラス、リンクド キャパシティ プラスなど) が、元々メッセージ送信に失敗したチャンネルタイプと一致しない場合、[さいそうしん] オプションは使用できません。

📁 メッセージの再送信

手順:

- 1 **Ⓜ** を押して、同じ加入者/グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。

- 2 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

📧 メッセージの転送

別の加入者/グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信するには、[てんそう] を選択します。

手順:

- 1 ▲ または ▼ を押して [てんそう] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、**(M)** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動し、**(M)** を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

加入者 ID を入力し、**(M)** を押します。

- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

📧 メッセージの編集

送信前にメッセージを編集するには [へんしゅう] を選択します。

注: 件名行が存在する場合 (電子メール アプリケーションから送信されたメッセージの場合)、この行は編集できません。

手順:

- 1 ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動し、**(M)** を押して選択します。

- 2 点滅するカーソルが表示されます。

キーボードを使用してメッセージを編集します。

◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。

▶ または **[S#]** キーを押して、1 つのスペースを右側に移動します。

[*←] を押して、不要な文字を削除します。

[S#] を長押しして、テキスト入力方法を変更します。

- 3 メッセージが完成したら、**(M)** を押します。


- 4 ▲ または ▼ を押して [そうしん] に移動し、**(M)** を押してメッセージを送信します。


あるいは

▲ または ▼ を押して [ほぞん] に移動し、**(M)** を押して、下書きフォルダにメッセージを保存します。


あるいは

[↵] を押してメッセージを編集します。

 を再度押して、メッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

- 5 ▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイアル] に移動し、 を押して選択します。ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

加入者 ID を入力し、 を押します。

- 6 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 7 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

送信済みメッセージの管理

別の無線機に送信されたメッセージは、送信 BOX に保存されません。最近送信されたメッセージは、必ず送信 BOX リストの一番上に追加されます。

送信 BOX フォルダは、最大で 30 件の最近送信されたメッセージを格納することができます。フォルダが一杯であるときに

メッセージを送信すると、フォルダの一番古いメッセージが削除されます。

注:  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。





送信済みメッセージの表示

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [そうしん BOX] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。

画面の右上コーナーのアイコンは、メッセージのステータスを示します (20 ページの「送信 BOX アイコン」参照)。

送信済みメッセージの送信

送信済みメッセージを表示中、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- 再送信
- 次へ
- 編集
- 削除

注：現在のチャンネルタイプ（従来型デジタル、キャパシティプラス、リンクドキャパシティプラスなど）が、メッセージが元々送信されたチャンネルタイプと一致しない場合、[再送信] オプションは使用できません。

手順：

- 1 メッセージの表示中に、**[再]** を再度押します。
- 2 **▲** または **▼** を押して [さいそうしん] に移動し、**[再]** を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、同じメッセージが同じ送信先無線機に送信されていることが示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

メッセージの送信に失敗すると、無線機は [さいそうしん] オプション画面に戻ります。**[再]** を押して、同じ加入者/グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。

注：ボリュームを変更したり、**[再]**、**◀**、**▶** 以外のボタンを押すと、メッセージに戻ります。

PTT ボタンを押して個別コールやグループ コールを行ったり、グループコールに応答すると、[さいそうしん] オプション画面を終了します。メッセージ、緊急通話や緊急アラーム、またはページングを受信しても、画面が終了します。個別コールに応答する場合（無線機が不在通話画面を表示している場合を除く）や、一斉コールの最後で **PTT** ボタンを押すと、[さいそうしん] オプション画面に戻ります。

▲ または **▼** ボタンを押して [てんそう]、[へんしゅう]、または [さくじょ] オプション画面に移動します。

- 別の加入者/グループのエイリアスまたは ID に選択したメッセージを送信するには、[てんそう] を選択します（74 ページの「メッセージの転送」を参照）。
- 送信前に選択したメッセージを編集するには、[へんしゅう] を選択します（74 ページの「メッセージの編集」を参照）。
- メッセージを削除するには、[さくじょ] を選択します。

注：メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、無線機は、ディスプレイや音声による通知を行わずに送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスを更新します。

送信 BOX 内のメッセージのステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになると、無線機は実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

無線機は、同時に最大で 5 件の実行中メッセージをサポートします。この間、無線機は新しいメッセージを送信することができず、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

📄 送信 BOX からの全送信済みメッセージの削除

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 ⑤ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、⑤ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [そうしん BOX] に移動し、⑤ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [ぜんさくじょ] に移動し、⑤ を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、⑤ を押して選択します。ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

- ▲ または ▼ を押して [いいえ] に移動し、⑤ を押して、前の画面に戻ります。

選択した送信済みアイテムにメッセージが存在しない場合、ディスプレイに [リストにありません] と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (99 ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

📄 メッセージの受信

無線機がメッセージを受信すると、ディスプレイに送信者のエイリアスまたは ID 付きの通知リストとメッセージアイコンが表示されます。

メッセージを受信すると、[Read] を選択できます。


注: メッセージ警告画面が表示されているときに PTT ボタンが押されると、無線機は警告画面を終了して、送信者への個別コールまたはグループコールを開始します。

📄 メッセージの表示


手順:

- 1 ▲ または ▼ を押して [Read?] に移動し、⑤ を押して選択します。

2 [じゅしん BOX] 内の選択したメッセージが開きます。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された
場合、件名が表示される場合があります。

3  を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

あるいは

 を押して、メッセージの返信、クイック返信、転送、ま
たは削除を行います。

受信メッセージの管理


受信トレイを使用してメッセージを管理します。受信トレイは
最大で 30 件のメッセージを格納できます。

無線機は、メッセージ用の以下のオプションをサポートします。

- 返信
- クイック返信
- 次へ
- 削除


注：現在のチャネル タイプ (従来型デジタル、キャパシティ プラ
ス、リンクドキャパシティ プラスなど) が、メッセージを受
信したチャネル タイプと一致しない場合、[へんしん] オプ
ションは使用できません。


受信トレイ内のメッセージは、新しく受信した順番にソートさ
れます。


注： ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。


受信トレイのメッセージの表示



手順:

1  を押してメニューにアクセスします。


2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、 を押して
選択します。

3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動し、 を押
して選択します。

4 ▲ または ▼ を押し、 を押してメッセージを表示します。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された
場合、件名が表示される場合があります。

5  を押して現在のメッセージを選択し、 を再度押して、
このメッセージの返信、クイック返信、転送、または削除を
行います。

あるいは

ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

受信トレイのメッセージへの返信

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。
- 5 サブメニューにアクセスするには、**Ⓜ** ボタンを再度押します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [へんしん] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [クイックへんしん] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

点滅するカーソルが表示されます。必要に応じて、キーパッドを使用してメッセージを編集します。

- 7 メッセージが完成したら、**Ⓜ** を押します。
- 8 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 9 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。**メッセージの送信が失敗すると、[さいそうしん] オプション画面に戻ります (73 ページの「送信失敗メッセージの管理」を参照)。**

受信トレイのメッセージの削除

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 ⑧ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なメッセージに移動し、⑧ を押して選択します。
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。
- 5 サブメニューにアクセスするには、⑧ ボタンを再度押します。
- 6 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 7 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 8 ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
- 9 画面は受信トレイに戻ります。

受信トレイの全メッセージの削除

手順:

プログラムされた [メッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 ⑧ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [メッセージ] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [じゅしん BOX] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ぜんさくじょ] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [はい] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 6 ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

選択した受信トレイにメッセージが存在しない場合、ディスプレイに [リストにありません] と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (99 ページの「キー操作音のオンとオフの切り替え」を参照)。

■ ワーク チケット

無線機は、ワーク チケットを受信することができます。これは、実行する必要がある作業を列挙する統制台から送信されるメッセージです。

ワーク チケットに回答して、それらをワーク チケット フォルダに並べることができます。既定では、フォルダ名は "All"、"New"、"Started"、および "Completed" です。追加の 10 個のフォルダについては、ディーラーかシステム管理者までお問い合わせください。

最大 100 件のワーク チケットがサポートされます。これらはすべて "All" フォルダにあります。新規および状態が最近変化したワーク チケットが先頭に列挙されます。ワーク チケットの最大件数に達すると、最後のチケットが次のチケットに取って代わられます。

注：ワーク チケットは、無線機の電源が切られてから再度入れられた後でも保持されます。

📁 ワーク チケット フォルダへのアクセス

手順：

プログラムされた [ワークチケット] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

- 1 **Ⓜ** ボタンを押して、メイン メニューにアクセスします。

- 2 **▲** または **▼** を押して [ワークチケット] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 **▲** または **▼** を押して必要なフォルダに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 **▲** または **▼** を押して必要なワーク チケットに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

注：ステップ 3 で、**☰** および対応する番号キー (1 ~ 9) を押して、必要なフォルダにアクセスすることもできます。

📄 ワーク チケットへの応答

手順：

プログラムされた [ワークチケット] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

- 1 **Ⓜ** ボタンを押して、メイン メニューにアクセスします。

- 2 **▲** または **▼** を押して [ワークチケット] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 **▲** または **▼** を押して必要なフォルダに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 **▲** または **▼** を押して必要なワーク チケットに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 サブメニューにアクセスするには、**Ⓜ** ボタンを再度押します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要なアクションに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 7 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 8 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

注：ステップ3と6で、**Ⓜ** および対応する番号キー(1～9)を押して、必要なフォルダまたはアクションにアクセスすることもできます。

ワーク チケットの削除

手順：

プログラムされた [ワーク チケット] ボタンを押して、ステップ3に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [ワークチケット] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [すべて] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なワーク チケットに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ワーク チケットの表示中に、**Ⓜ** を再度押します。
- 6 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

注：ステップ4で、ワーク チケットの表示中に **★←** を押して削除します。

■ プライバシー

この機能を有効にすると、ソフトウェア ベースのスクランブルソリューションを使った不正ユーザーによるチャンネルの盗聴を防止します。送信のシグナリングおよび特定ポーションはスクランブルされません。

プライバシー有効送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルでプライバシー機能が有効になっている必要があります。プライバシー有効チャンネル上で、無線機はクリアな(スクランブルされていない)送信を引き続き受信できます。

お使いの無線機は、次の2種類のプライバシーをサポートしています:

- 基本プライバシー
- 拡張プライバシ

上記のプライバシー タイプのいずれか1つのみを無線機に適用できます。

プライバシー有効通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機と同一のプライバシー キー(基本プライバシー)、または同一のキー値とキー ID(拡張プライバシー)を持つようにプログラムされている必要があります。

無線機が、異なるプライバシー キー、または異なるキー値とキー IDのスクランブル通話を受信した場合、音声理解できないノイズになる(基本プライバシー)か、何も聞こえません(拡張プライバシー)。

無線機が送信中には、LED は緑色に点灯します。無線機が進行中のプライバシー有効送信を受信中には、LED はグリーンに2回点滅します。







注: このプライバシー機能を提供しない無線機のモデル/ ロケーションもあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順:

プログラムした【プライバシー】ボタンを押し、プライバシーのオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひわモード] に移動し、 を押して選択します。
- 5  を押して秘話モードを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
 を押して秘話モードを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

無線機にプライバシータイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ステータスバーにセキュアアイコンまたは非セキュアアイコンが表示されます。

注：ステップ4で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

■ ステルスモード

無線機は、ステルスモードに対応しています。ステルスモードでは、キーパッドとプログラムされたボタンへのアクセスはすべてブロックされます。有効の場合、表示通知(ディスプレイ、LED、およびバックライト)はすべて有効になります。

この機能では、有線アクセサリまたはBluetooth アクセサリ経由のオーディオまたはトーンだけ使用できます。

📄 ステルスモードの開始

手順：

③ ボタンおよびホーム画面の数値キー 2、5、8 を同時に押しします。

📄 ステルスモードの終了

手順：



- 1 ③ ボタンおよび数値キー 2、5、8 を同時に押しします。通常モードに戻ります。
あるいは
電源オン/オフ ボタンから無線機の電源をいったん切ってから再投入して、ステルスモードを終了します。

■ デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF)

デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) 機能を使用することで、無線機は無線機システム内で電話機システムを操作できます。

手順：

DTMF 通話を行うには、以下の手順を実行します。

- 1 PTT ボタンを押し続けます。
- 2 必要な数値、 または  を入力します。

すべての無線機トーンと警告を無効にすることで、DTMF トーンをオフにできます (98 ページの「無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え」を参照)。

■ 複数サイトコントロール

現在の無線機チャンネルが IP サイト コネクトまたはリンクドキャパシティ プラス設定に含まれている場合に適用されます。

設定の詳細については、14 ページの「IP サイト接続」および 15 ページの「リンクドキャパシティ プラス」を参照してください。

自動サイト検索の開始

注：無線機は、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合にのみ、新規サイトをスキャンします。RSSI 値が強ければ、無線機は現在のサイトのままです。

手順：






プログラムされた [サイト ロック オン/オフ] ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに [サイトロックかいじょ] と表示されます。
- 2 無線機が新規サイトを検索しているときには、黄色の LED が高速に点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。
- 3 ディスプレイに、チャンネルのエリアスとサイト ローミングアイコンが表示されます。

あるいは

手順：

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [サイトローミング] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [サイトアンロック] に移動し、 を押して選択します。トーンが鳴り、ディスプレイに [サイトロックかいじょ] と表示されます。
- 6 無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイに、チャンネルのエリアスとサイト ローミングアイコンが表示されます。
- 7 無線機が新規サイトを検索しているときには、黄色の LED が高速に点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。

現在のチャンネル (ローミング リスト付きの複数サイト チャンネル) が通信範囲外であれば、PTT ボタンが押されている間やデータの送信中は、無線機は自動サイト検索も実行します (サイトはロック解除)。

自動サイト検索の停止

無線機が新しいサイトを検索している間に次の手順を実行します。

手順:

プログラムされた[サイトロックオン/オフ]ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに[サイトロック済み]と表示されます。
- 2 LED が消灯し、ディスプレイにチャンネルのエリアスが表示されます。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[せってい]に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[きのうせってい]に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して[サイトローミング]に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して[Lock Site State]に移動します。

- 6 **(M)** を押してサイトをロックします。ディスプレイで[ゆうこう]の隣に✓が表示されます。

あるいは

(M) を押してサイトをロック解除します。ディスプレイで[ゆうこう]の隣から✓が消えます。LED は消灯し、無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイにはチャンネルのエリアスが表示されます。

注: ステップ5で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

手動サイト検索の開始


手順:

プログラムされた[しゅどうローミング]ボタンを押して、ステップ6に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[せってい]に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[きのうせってい]に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して[サイトローミング]に移動し、**(M)** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [サイト サーチ] に移動し、 を押して選択します。
- 6 トーンが鳴り、ディスプレイに [サイト サーチ] と表示されます。緑色の LED が点滅します。
- 7 新しいサイトが見つかったと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [Site Alias Found] と表示されます。
あるいは
通信範囲内にサイトが見つからないと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [けんがい] と表示されます。
あるいは
通信範囲内にサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには [チャンネルビジー] と表示されます。
- 8 無線機はホーム画面に戻ります。

■ セキュリティ


システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、盗難にあった無線機を無効にして使用できないようにし、無線機を回収したら有効にすることができます。

注：無線機の停止、停止解除の切り替えは、これらの機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

📄 無線機停止

手順：



プログラムされた **[むせんていし]** ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた **[むせんていし]** ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエアリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
- 4 承認を待ちます。
- 5 成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。
あるいは
失敗の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

あるいは

手順：

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、**(F)** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**(F)** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん ID] に移動し、**(F)** を押して選択します。

ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

加入者のエリアスまたは ID を入力し、**(F)** を押します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんきていし] に移動し、**(F)** を押して選択します。緑色の LED が点滅します。

- 5 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。

- 6 承認を待ちます。

- 7 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

無線機停止操作中に **(P)** キーを押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

停止解除

手順:

プログラムされた [むせんオン] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [むせんオン] ボタンを押します。

- 2 ▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、**(F)** を押して選択します。

- 3 ディスプレイに [むせんオン] および加入者のエリアスまたは ID が表示されます。LED が緑色に点灯します。

- 4 承認を待ちます。

- 5 成功すると、ポジティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブインジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

あるいは

手順:

メニューを使用します。

- 1 **(F)** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**(F)** を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要なエリアスまたは ID に移動し、**(M)** を押して選択します。

あるいは

▲ または ▼ を押して [ダイヤル] に移動し、**(M)** を押して選択します。

▲ または ▼ を押して [むせん リスト] に移動し、**(M)** を押して選択します。

ディスプレイの 1 行目に [むせん ID:] と表示されます。ディスプレイの 2 行目には点滅するカーソルが表示されます。

加入者のエリアスまたは ID を入力し、**(M)** を押します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [むせんオン] に移動し、**(M)** を押して選択します。緑色の LED が点滅します。

- 5 ディスプレイに [むせんオン] および加入者のエリアスまたは ID が表示されます。LED が緑色に点灯します。

- 6 承認を待ちます。

- 7 成功すると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに正のミニ通知が表示されます。

あるいは

失敗の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

停止解除操作中に **(M)** キーを押さないでください。承認メッセージが受信できなくなります。

■ ローン ワーカー

この機能は、あらかじめ定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネル セレクターの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がないと、無操作タイマー終了後に、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

あらかじめ定義された通知タイマーが終了してもユーザーによる応答操作がない場合、無線機は緊急アラームを発します。

この機能には、緊急アラームのいずれか 1 つのみを割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

無線機は、操作が行われるまで緊急状態のままとなります。この間も音声メッセージは送信できます。緊急状態の終了方法については、63 ページの「**緊急操作**」を参照してください。

注：この機能は、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

■ パスワード ロック機能

この機能が有効になると、起動時にパスワードを介し無線機にアクセスします。

📁 パスワードから無線機にアクセスする

手順:

無線機を起動します。

1 連続音が聞こえます。

2 無線機のキーパッドで現在の 4 つの数値から成るパスワードを入力します。ディスプレイの 2 行目に ●●●● が表示されます。Ⓜ を押して進みます。

あるいは

現在の 4 つの数値から成るパスワードを入力します。▲ または ▼ を押して、各桁の数値を編集します。各桁が ● に変化します。▶ を押して隣の桁に移動します。選択を確認するには、Ⓜ を押します。

数値を押すたびに、ポジティブ インジケータ トーンが聞こえます。◀ を押して、ディスプレイの最後の ● を削除します。ディスプレイの 2 行目が空の場合に ◀ を押すか、5 つ以上の数値を押すと、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

3 パスワードが正しい場合:

無線機は起動します。4 ページの「無線機の電源を入れる」を参照してください。

あるいは

パスワードが正しくない場合:

ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示されます。ステップ 2 を繰り返します。4 桁未満のパスワードは正しくありません。

あるいは

誤ったパスワードを 3 回入力すると、ディスプレイには、[パスワードふてきごう] に続き、[むせんきロックずみ] と表示されます。音が聞こえ、黄色の LED がダブルで点滅します。

無線機は 15 分間のロック ステータスに入ると、オン/オフ ボタンおよびプログラム済みバックライト ボタンからの入力にのみ反応します。

注: 無線機は、緊急通話、ロック ステータスを含むどのような通話も受信できません。

無線機をロック ステータスからロック解除する

手順:

15 分間待機します。90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ 1 ~ 3 を繰り返します。

あるいは








ロック ステータスで無線機を切った場合は、以下の様に無線機を起動します。




- 1 音が聞こえ、黄色の LED がダブルで点滅します。ディスプレイに [むせんきロックずみ] と表示されます。
- 2 15 分間待機します。90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」を繰り返します。

無線機を起動すると、ロック ステータスの 15 分タイマーを再始動します。

パスワード ロックのオン/オフを切り換える


手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。


4  または  を押して [パスワードロック] に移動し、 を押して選択します。

5 現在の 4 つの数値から成るパスワードを入力します。90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ 2 を参照してください。

6 パスワードが正しい場合:

 を押して、パスワード ロックを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。



あるいは

 を押して、パスワード ロックを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

パスワードが正しくない場合:

ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示され、前のメニューに自動的に戻ります。

注: ステップ 6 で、 または  を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📁 パスワードの変更

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [パスワードロック] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 4 つの数値から成るパスワードを入力します。
90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ 2 を参照してください。
- 6 パスワードが正しい場合:
▲ または ▼ を押して [パスワードヘンコウ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
あるいは
パスワードが正しくない場合:
ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示され、前のメニューに自動的に戻ります。
- 7 4 つの数値から成る新規パスワードを入力します。90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ 2 を参照してください。

- 8 4 つの数値から成る新規パスワードを再入力します。90 ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ 2 を参照してください。
- 9 新規パスワードの入力が双方で一致する場合:
ディスプレイに [パスワードへんこうずみ] と表示されます。
あるいは
新規パスワードの入力が双方で一致しない場合:
ディスプレイに [パスワードふてきごう] と表示されます。
- 10 画面は前のメニューに自動的に戻ります。

■ ブルートゥース動作

この機能では、お使いの無線機とブルートゥース対応デバイス (アクセサリ) を無線ブルートゥース接続を介して連携させることができます。お使いの無線機では、Motorola と COTS (市販既製品) ブルートゥース対応デバイスの両方をサポートしています。

ブルートゥースは、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機とブルートゥース対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。

無線機とブルートゥース対応デバイスを遠く引き離れた場合、高い信頼性で動作することは期待できません。


受信不良地域では、音声とトーン両方が“不明瞭”または“割れて”聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機とBluetooth対応デバイスを互いに近づけて（規定の10メートル/32フィート以内）、明瞭な音声受信を再確立します。無線機のBluetooth機能の最高出力は、10メートル/32フィート範囲で2.5 mW (4 dBm) です。


無線機では、異なる種類のBluetooth対応デバイスとの同時接続数は、最高3です。たとえば、ヘッドセット、スキャナ、およびPTTのみデバイス(POD)の3台と同時に接続できません。同じ種類の複数台のBluetooth対応デバイスと同時に接続することはできません。


Bluetooth対応デバイスの全機能の詳細については、各デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。


Bluetoothのオン/オフの切り替え

手順:


- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲または▼を押して[Bluetooth]に移動し、 を押して選択します。

- 3 ▲または▼を押して[ステータス]に移動し、 を押して選択します。

- 4 ディスプレイに[オン]と[オフ]が表示されます。▲または▼を押して[オン]に移動し、 を押してBluetoothを有効にします。✓が[オン]の横に表示されます。ステータスバーにBluetoothアイコンが表示されます。


あるいは


ディスプレイに[オン]と[オフ]が表示されます。▲または▼を押して[オフ]に移動し、 を押してBluetoothを無効にします。✓が[オフ]の横に表示されます。


Bluetooth デバイスの検出と接続



手順:


- 1 Bluetooth対応デバイスの電源を入れ、ペアリングモードにします。Bluetooth対応デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

 - 2 無線機側で、 を押してメニューにアクセスします。

 - 3 ▲または▼を押して[Bluetooth]に移動し、 を押して選択します。

 - 4 ▲または▼を押して[デバイス]に移動し、 を押して選択します。

 - 5 ▲または▼を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。
- あるいは
- ▲または▼を押して[デバイスサーチ]に移動し、使用できるデバイスを見つけます。
- ▲または▼を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。

6 ▲または▼を押して[せつぞく]に移動し、を押して選択します。ディスプレイには[<デバイス>にせつぞく]が表示されます。


ペアリングを完成させるには、Bluetooth対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。

Bluetooth対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

7 成功すると、ディスプレイに[<デバイス>せつぞくずみ]と表示されます。トーンが鳴り、接続先デバイスの隣に✓が表示されます。ステータスバーにBluetooth接続済みアイコンが表示されます。

あるいは

失敗の場合、無線機のディスプレイに[せつぞくしっぱい]と表示されます。


サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth対応デバイスの電源を切ったり、を押したりしないでください。動作が取り消されてしまいます。


注：ピンコードが必要な場合、90ページの「パスワードから無線機にアクセスする」にあるステップ2と同じ入力方法を使用してください。


Bluetooth デバイスからの検索と接続 (検出可能モード)

手順:

1 Bluetoothの電源を入れます。93ページの「Bluetoothのオン/オフの切り替え」を参照してください。

1 を押してメニューにアクセスします。

2 ▲または▼を押して[Bluetooth]に移動し、を押して選択します。

3 ▲または▼を押して[Find Me]に移動し、を押して選択します。

ご使用の無線機が、プログラムされた期間に他のBluetooth対応デバイスで検出可能になります。これを検出可能モードと呼びます。

4 Bluetooth対応デバイスの電源を入れ、無線機とペアリングします。Bluetooth対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

検索動作中および接続動作中は、Bluetoothまたは無線機の電源を切らないでください。動作が取り消されてしまうことがあります。

Bluetooth デバイスからの切断

手順:

- 1 無線機側で、**(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、**(M)** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [せつだん] に移動し、**(M)** を押して選択します。ディスプレイに [<デバイス> からせつだんちゆう] が表示されます。
切断するには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
- 6 無線機のディスプレイに、 [<デバイス> せつだんずみ] と表示されます。ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、接続先デバイスの隣から ✓ が消えます。ステータスバーから Bluetooth 接続済みアイコンが消えます。

音声ルートの切り替え

内部無線器スピーカーと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えることができます。


手順:

- 1 プログラムされた **[Bt オーディオ キリカエ]** ボタンを押します。
- 2 トーンが鳴り、ディスプレイに [おんせい> むせんき] と表示されます。
あるいは
トーンが鳴り、ディスプレイに [おんせい> Bluetooth] と表示されます。

デバイスの詳細の表示

手順:








- 1 **(M)** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [Bluetooth] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、**(M)** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、**(M)** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [しょうさい] に移動し、 を押して選択します。

デバイス名の編集

使用できるブルートゥース対応デバイスの名前を編集することができます。

手順:






- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [ブルートゥース] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [ネームヘンシュウ] に移動し、 を押して選択します。
- 6 点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して、必要なゾーンを入力します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
 を押して、不要な文字を削除します。
 を長押しして、テキスト入力方法を変更します。

- 7 ディスプレイに [デバイスめいほぞんずみ] と表示されます。

デバイス名の削除

ブルートゥース対応デバイスのリストから切断済みデバイスを削除できます。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [ブルートゥース] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [デバイス] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して必要なデバイスに移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイに [デバイスさくじょずみ] と表示されます。

Bluetooth Mic ゲイン

接続したBluetooth対応デバイスのマイク ゲインの値を制御できます。

手順:

- 1 **[M]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[▲]** または **[▼]** を押して [Bluetooth] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 3 **[▲]** または **[▼]** を押して [BT マイクゲイン] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 4 **[▲]** または **[▼]** を押して必要な BT Mic ゲイン タイプおよび現在の値に移動します。
値を編集するには、**[M]** を押して選択します。
- 5 **[▲]** を押して値を増加、または **[▼]** を押して値を減少し、**[M]** を押します。

通知リスト

無線機には、未読のメッセージや不在着信リングアラート通話など、チャンネル上で“未読”のイベントをすべて収集する通知リストがあります。通知リストには、未読のワーク チケットも格納されます。

通知リストにイベントが1件以上あると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

TMS および不在着信/ページング通知イベントの場合、最大件数は、TMS で 30、不在着信/ページングで 10 です。この最大件数は、個々の機能 (ワーク チケット、TMS、不在着信/ページング) のリスト容量に応じて異なります。

これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

通知リストへのアクセス

手順:

- 1 **[M]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 **[▲]** または **[▼]** を押して [おしらせ] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 3 **[▲]** または **[▼]** を押して必要なイベントに移動し、**[M]** を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、**[Home]** ボタンを長く押します。

■ OTA (無線) プログラミング (OTAP)

ご使用の無線機は、物理的に接続する必要なく、OTAP を経由してリモートでディーラーによる更新が可能です。さらに、一部の設定も OTAP 経由で行えます。

OTAP での操作実行中は、LED が緑色に点滅します。

注：無線機が大量データを受信しているとき、大量データアイコンが表示され、チャンネルはビジーになります。そのとき PTT ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ることがあります。

プログラミングが完了すると、無線機の設定により次の状態になります。

- トーンが鳴り、ディスプレイに [アップデートリセット] と表示され、無線機が再起動 (電源が切れてから再度入る) します。
- [リスタート] または [えんきする] のいずれかを選択します。[えんきする] を選択すると、無線機は前の表示に戻り、自動再起動が行われるまでの間、OTAP タイマーアイコンが表示されます。

自動再起動が行われた後で電源が入ると、OTAP による更新が正常に行われた場合は [ソフト アップデートかんりょう]、正常に行われなかった場合は [ソフト アップデートしっぱい] がディスプレイに表示されます。

更新されたソフトウェアバージョンについては、116 ページの「ソフトウェア更新」を参照してください。

■ 公共事業

📄 無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え






必要に応じ、すべての無線機トーンや警告 (着信緊急アラームトーンは除く) を有効にすることも無効にすることもできます。現在の警告音の設定は、[めいおん]、[パイプ]、[めいおん&パイプ]、および [サイレント] モードです。

手順：

プログラムした [ぜん トーン/Alm] ボタンを押し、すべてのトーンのオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [ぜん トーン] に移動し、 を押して選択します。

- 6 **Ⓜ** を押してすべてのトーンを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

- Ⓜ** を押してすべてのトーンを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ5で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📖 キー操作音のオンとオフの切り替え

必要に応じて、キーパッド トーンの有効、無効を切り替えられます。

手順：

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [キーそうさおん] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 **Ⓜ** を押してキーパッド トーンを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

- Ⓜ** を押してキーパッド トーンを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ5で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📖 トーンアラート ボリューム オフセット レベルの設定

必要に応じて、トーンアラート ボリューム オフセット レベルを調節できます。この機能は、音声ボリュームを基準としてトーン/アラートのボリュームを調節できます。




手順：

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。


- 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。


- 5 ▲ または ▼ を押して [Vol オフセット] に移動し、 を押して選択します。
-
- 6 ▲ または ▼ を押して必要なボリュームレベルにします。無線機は、それぞれの対応するボリューム値のフィードバックトーンを発します。
-
- 7  を押して、表示されている必要なボリューム値を維持します。
あるいは
ステップ 6 を繰り返して、その他のボリューム値を選択します。
あるいは
 を押して、現在のボリューム オフセット設定を変更せずに終了します。
-


許可トーンのオンとオフの切り替え


必要に応じて、許可トーンの有効、無効を切り替えられます。


手順:



- 1  を押してメニューにアクセスします。

 - 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。

 - 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。

 - 4 ▲ または ▼ を押して [トーン/アラート] に移動し、 を押して選択します。

 - 5 ▲ または ▼ を押して [きょか トーン] に移動し、 を押して選択します。

 - 6  を押して通話許可トーンをオンにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
 を押して通話許可トーンをオフにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。
-

注: ステップ 5 で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

表示モードの変更

必要に応じて、無線機の表示モードをデイとナイトの間で切り替えられます。これにより、ディスプレイの色パレットが影響を受けます。

手順：

プログラムした **[Display Mode]** ボタンを押し、表示モード設定を切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[M]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 5 ディスプレイに [デイモード] と [ナイトモード] が表示されます。▲ または ▼ を押して必要な設定に移動し、**[M]** を押して選択します。選択した設定の隣に ✓ が表示されます。

注：ステップ4で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

表示輝度の調整

必要に応じて、無線機の表示輝度を調整することができます。

注：“あかるさじどう” が有効の場合、表示輝度は調整できません。

手順：

プログラムされた **[きど]** ボタンを押し、ステップ5に進みます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[M]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [きど] に移動し、**[M]** を押して選択します。
- 5 進行状況バーが表示されます。ディスプレイの輝度を下げるには ◀、上げるには ▶ を押します。設定1～8から選択します。**[M]** を押して入力を確認します。

📄 ディスプレイ バックライトの制御

必要に応じて、無線機のディスプレイ バックライトのオン、オフを切り替えられます この設定は、メニュー ナビゲーション ボタンとキーパッドのバックライトにもそれぞれ影響します。プログラムされた [オート バックライト] ボタンを押して、バックライト設定のオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [オート バックライト] に移動します。
- 5 **Ⓜ** を押してバックライトを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

Ⓜ を押してバックライトを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

LED インジケータが有効の場合、ディスプレイ バックライトとキーパッド バックライトは自動的にオフになります (105 ページの「LED 表示のオンとオフの切り替え」を参照)。

注：ステップ4で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📄 壁紙モード

無線機のホーム画面には、壁紙背景が表示されます。5 種類の壁紙から選択できます。

手順：

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ひょうじ] を選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [かべがみ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

注：ステップ5で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

■ スクリーンセーバーモード

スクリーンセーバー機能の使用中は、無線機のバッテリー残量が節約されます。スクリーンセーバーモードに入る前に、スクリーンセーバー前期間を使用して無線機の動作が追跡されます。

無線機を始動すると、すぐにスクリーンセーバー前期間が始まります。無線機は、スクリーンセーバー前期間の時間が経過すると、スクリーンセーバーモードに入ります。ユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐに、スクリーンセーバーモードは終了し、関係するトランザクションに応答します。

無線機は、ユーザー入力または無線トランザクションがあるとすぐに、スクリーンセーバー前期間を再開します。スクリーンセーバーモードに入って5秒経過すると、キーパッドロック状態に自動的に移行します。オーディオまたはブルートゥースのアクセサリが接続されると、バッテリーセーバーモードが有効になり、スクリーンセーバーモードに入ります。

ユーザー入力または無線トランザクションがあると、スクリーンセーバーモードが終了し、ユーザーからの入力に応答します。スクリーンセーバー前期間が期限を迎えると、同期間が再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。

注：スクリーンセーバーモードは、電池寿命を延ばすうえで役立ちます。

📁 オーディオアクセサリ

オーディオアクセサリには、“ふつう”と“バッテリーセーバー”という2種類のモードがあります。バッテリーセーバーモードでオーディオアクセサリが接続されると、無線機はタイマーを再開し、スクリーンセーバーモードに入ります。このシナリオでは、ユーザー入力（無線機でのユーザー入力およびアクセサリの着脱も含む）があるか、緊急アラーム/通話を受けると、スクリーンセーバーモードが終了し、通常通りユーザーイベントに応答します。割り当て時間が経過すると、スクリーンセーバータイマーが再開され、スクリーンセーバーモードに戻ります。

注：このバッテリーセーバーモードは、電池寿命を延ばすうえで役立ちます。このモードでの詳細については、スクリーンセーバーボックス SRS を参照してください。

📖 キーパッドのロックとロック解除

キーの誤入力を防ぐために、無線機のキーパッドをロックできます。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [キー ロック] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ディスプレイに [キー ロック] と表示され、ホーム画面に戻ります。
- 6 キーパッドのロックを解除するには、**Ⓜ** を押してから **Ⓜ** を押します。
- 7 ディスプレイには [キーパッドアンロック] と表示され、無線機はホーム画面に戻ります。

注: ステップ4で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📖 オート キーロック

キーの誤入力を防ぐために、無線機の自動キーパッド ロックの有効/無効を切り替えることができます。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [キー ロック] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 **Ⓜ** を押してオート キー ロックを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
Ⓜ を押してオート キー ロックを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

☐ 言語

無線機ディスプレイの表示言語を設定することができます。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [げんご] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して必要な言語に移動し、**Ⓜ** を押して有効にします。選択した言語の隣に ✓ が表示されます。

☐ メッセージ警告トーンの設定

無線機のメッセージ警告トーンをカスタマイズして、連絡先リストの各エントリに対して瞬間トーンまたは反復トーンを設定できます。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [れんらくさき] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して必要な加入者エイリアスに移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [メッセージアラーム] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ディスプレイに [1かいのみ] と [くりかえし] が表示されます。▲ または ▼ を押して必要な設定に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。選択した設定の隣に ✓ が表示されます。

- 6 ステップ4で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。


無線機のデフォルト設定は [くりかえし] です。

☐ LED 表示のオンとオフの切り替え


必要に応じて、LED 表示のオンとオフを切り替えられます。

手順:



- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [LEDひょうじ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5  を押して LED インジケータをオンにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは

-  を押して LED インジケータをオフにします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

LED インジケータが有効の場合、ディスプレイ バックライト、ボタン、およびキーパッド バックライトは自動的にオフになります (102 ページの「ディスプレイ バックライトの制御」を参照)。

注：ステップ 4 で、 または  を使用して選択したオプションを変更することもできます。

音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え

この機能により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

無線機の動作中に PTT ボタンを押すと、VOX は無効になります。VOX を再度有効にするには、以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 電源を切り、もう一度電源を入れます。または
- 以下に示す手順を実行します。












注：この機能のオンとオフの切り替えは、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：



プログラムされた [VOX] ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
 - 2  または  を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
 - 3  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
 - 4  または  を押して [VOX] に移動します。
 - 5  を押して VOX を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
- あるいは
-  を押して VOX を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

通話許可トーン機能が有効であれば (100 ページの「許可トーンのオンとオフの切り替え」を参照)、トリガーワードを発声して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

注：ステップ 4 で、 または  を使用して選択したオプションを変更することもできます。

□ オプションボード機能のオンとオフの切り替え

1つのチャンネルは、最大6のオプションボード機能をサポートします。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順:

プログラムされた**[オプションボード機能]** ボタンを押して、機能のオンとオフを切り替えます。

□ ケーブルタイプの特定

無線機で使用するケーブルのタイプを選択することができます。

手順:

- 1 **[Ⓜ]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**[Ⓜ]** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**[Ⓜ]** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ケーブルタイプ] に移動し、**[Ⓜ]** を押して選択します。
- 5 現在のケーブルタイプは ✓ で示されます。

注: ステップ4で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

□ 音声ガイド

この機能では、ユーザーが割り当てたばかりの現在のゾーンとチャンネル、またはプログラム可能ボタンが押されたことを音声で知らせることができます。この音声インジケータは、ユーザーの要件に応じてカスタマイズすることができます。これが便利なのは、ディスプレイに表示されているコンテンツを読み取るのが難しいときです。

次の機能を使用して、音声ガイドの有効/無効を切り替えます。

手順:

プログラムされた**[おんせいガイド]** ボタンを押します。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **[Ⓜ]** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**[Ⓜ]** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**[Ⓜ]** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [おんせいガイド] に移動します。
- 5 **[Ⓜ]** を押して音声ガイドを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
[Ⓜ] を押して音声ガイドを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ3で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📁 Mic AGC-D

この機能では、無線機のマイクゲインを自動的に制御しながら、デジタル システム上で送信します。

大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。

手順：

- 1 ⑤ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、⑤ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、⑤ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [Mic AGC-D] に移動します。
- 5 ⑤ を押して **Mic AGC-D** を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
⑤ を押して **Mic AGC-D** を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ3で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

📁 インテリジェント オーディオ

あらゆる定常騒音源と非定常騒音源を含む、周辺環境の背景雑音が多い場合、それに負けないように音量を自動的に調整することができます。この機能は受信側限定であり、送信音声は影響を受けません。

注：この機能は、ブルートゥース セッションでは使用できません。

次の機能を使用して、Int オーディオの有効/無効を切り替えます。

手順：

プログラムされた [Int オーディオ] ボタン を押します。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 ⑤ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、⑤ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、⑤ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [Int オーディオ] に移動します。
- 5 ⑤ を押して Int オーディオを有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
⑤ を押して Int オーディオを無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ3で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。内蔵自動ボリュームコントローラーを使用して同様のパフォーマンスを達成するための推奨Bluetooth対応オーディオアクセサリについては、118ページの「アクセサリ」を参照してください。

■ ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え





この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。


手順：

プログラムされた[ハウリングよくせい]ボタンを押します。


あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ハウリングよくせい] に移動し、 を押して選択します。

5  を押してハウリング抑制機能を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

あるいは



 を押してハウリング抑制機能を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ3で、◀または▶を使用して選択したオプションを変更することもできます。

テキスト入力設定

無線機でのテキストの入力に対して次を設定できます。

- 単語修正
- 単語予測
- 文章大文字修正
- マイワード

注： を押すといつでも前の画面に戻ります。 を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーが終了後に、現在の画面を終了します。

☐ 単語修正

テキスト エディタに入力した単語が組み込み辞書で認識されない場合、単語の代わりの選択肢を提供します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりよく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [もじしゆうせい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 **Ⓜ** を押して単語修正を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
Ⓜ を押して単語修正を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ5で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

☐ 単語予測

無線機は、頻繁に入力する語に共通する並び順を学習できます。学習内容をもとに、テキスト エディタに共通する語の並びの最初の単語を入力すると、使用する可能性のある次の語を予測します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりよく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [よそくへんかん] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 **Ⓜ** を押して単語予測を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
Ⓜ を押して単語予測を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ5で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

文章大文字修正

新しい文を入力するごとに、最初の語の最初の文字を自動的に大文字にできます。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりよく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [おおもじ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 6 **Ⓜ** を押して文章大文字修正を有効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。
あるいは
Ⓜ を押して文章大文字修正を無効にします。ディスプレイで [ゆうこう] の隣から ✓ が消えます。

注：ステップ5で、◀ または ▶ を使用して選択したオプションを変更することもできます。

カスタム語の表示

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できません。無線機は、その語を含むリストを管理します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりよく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して [マイワード] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 6 ▲ または ▼ を押して [ワードリスト] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

📁 カスタム語の編集

無線機に保存したカスタム語を編集できます。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりょく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [マイワード] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [ワードリスト] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
ディスプレイにはカスタム語のリストが表示されます。

- 7 ▲ または ▼ を押して必要な項目に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 8 ▲ または ▼ を押して [へんしゅう] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 9 キーパッドを使用して、カスタム語を編集します。
◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
▶ または **Ⓜ#** を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
✖< を押して、不要な文字を削除します。
Ⓜ# を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
カスタム語が完成したら **Ⓜ** を押します。

- 10 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- 11 カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイには正のミニ通知が表示されます。
あるいは
カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

📄 カスタム語の追加

自分のカスタム語を無線機に組み込まれた辞書に追加できます。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりょく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 5 ▲ または ▼ を押して [マイワード] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して [しんきつか] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 7 キーパッドを使用して、カスタム語を入力します。
 ◀ を押して、スペース 1 つ分左側に移動します。
 ▶ または **Ⓜ#** を押して、スペース 1 つ分右側に移動します。
✖← を押して、不要な文字を削除します。
Ⓜ# を長押しして、テキスト入力方法を変更します。
 カスタム語が完成したら **Ⓜ** を押します。

- 8 ディスプレイには経過に関するミニ通知が表示され、カスタム語が保存中であることが示されます。

- 9 カスタム語が保存されると、トーンが鳴り、ディスプレイには正のミニ通知が表示されます。

あるいは

カスタム語を保存していない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに負のミニ通知が表示されます。

📄 カスタム語の削除

無線機に保存したカスタム語を削除できます。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。

- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。


- 3 ▲ または ▼ を押して [きのうせってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [もじにゆうりょく] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。


- 5 ▲ または ▼ を押して [マイワード] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 6 ▲ または ▼ を押して必要な項目に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。

- 7 ▲ または ▼ を押して [さくじょ] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。







8 [エントリをさくじよしますか?]が表示されたら、▲ または▼ を押して[はい]に移動し、 を押してこれを選択して、エントリを削除します。ディスプレイに[エントリさくじよ済み]と表示されます。


あるいは

▲ または ▼ を押して[いいえ]に移動し、 を押して、前の画面に戻ります。


すべてのカスタム語の削除

無線機に組み込まれた辞書からすべてのカスタム語を削除できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して[せってい]に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して[きのうせってい]に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して[もじにゆうりよく]に移動し、 を押して選択します。
- 5 ▲ または ▼ を押して[マイワード]に移動し、 を押して選択します。
- 6 ▲ または ▼ を押して[ぜんさくじよ]に移動し、 を押して選択します。

7 [エントリをさくじよしますか?]が表示されたら、▲ または▼ を押して[はい]に移動し、 を押してこれを選択して、エントリを削除します。ディスプレイに[エントリさくじよ済み]と表示されます。



あるいは

▲ または ▼ を押して[いいえ]に移動し、 を押して、前の画面に戻ります。

一般無線機情報へのアクセス

お使いの無線機に関する情報には、以下の情報があります。

- バッテリ
- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- オープンソース ソフトウェア情報
- ソフトウェア更新
- サイト情報

注:  を押すといつでも前の画面に戻ります。 を長く押すとホーム画面に戻ります。無線機は、無操作タイマーが終了後に、現在の画面を終了します。

📖 バッテリー情報へのアクセス

無線機のバッテリーに関する情報を表示します。

手順:

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [バッテリー INFO] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ディスプレイにバッテリー情報が表示されます。

あるいは

IMPRES バッテリーの場合のみ: バッテリーが IMPRES 充電器で調整が必要な場合、ディスプレイに [バッテリーかいふく] と表示されます。

調整処理後、ディスプレイにはバッテリー情報が表示されます。

📖 無線エイリアスと ID をチェックする

無線機の ID を表示します。

手順:

無線エイリアスと ID をチェックするには、プログラムされた [むせんエイリアスと ID] ボタンを押します。ポジティブインジケータ トーンが鳴ります。

あるいは

以下に示す手順を実行します。

- 1 **Ⓜ** を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [じきよくナンバー] に移動し、**Ⓜ** を押して選択します。
- 5 ディスプレイの 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。ディスプレイの 2 行目に、無線 ID が表示されます。

プログラムされた [むせんエイリアスと ID] ボタンを押して前の画面に戻ることもできます。

📄 ファームウェアバージョンとコードプラグバージョンのチェック

無線機のファームウェアバージョンを表示します。

手順:

- 1 ⑧ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [バージョン] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 5 ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

📄 オープンソース ソフトウェア情報のチェック

無線機のオープンソース ソフトウェア (OSS) 情報を表示します。

手順:

- 1 ⑧ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、⑧ を押して選択します。

- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、⑧ を押して選択します。

- 4 ▲ または ▼ を押して [バージョン] に移動し、⑧ を押して選択します。

- 5 ディスプレイに現在のファームウェア バージョン情報が表示されます。

📄 ソフトウェア更新

OTA (無線) プログラミング経由で実行された最新のソフトウェア更新の日付と時刻を表示します。

手順:

- 1 ⑧ を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [ソフトアップデート] に移動し、⑧ を押して選択します。
- 5 ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。





OTAP の詳細については、98 ページの「OTA (無線) プログラミング (OTAP)」を参照してください。

注：ソフトウェア更新メニューは、少なくとも1回のOTAPセッションが正常に完了した後でのみ利用できるようになります。

📄 サイト情報

ご使用の無線機のある現在のリンクド キャパシティ プラス サイト名を表示します。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2 ▲ または ▼ を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。
- 3 ▲ または ▼ を押して [きき じょうほう] に移動し、 を押して選択します。
- 4 ▲ または ▼ を押して [サイトじょうほう] に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイに現在のリンクド キャパシティ プラス サイト名が表示されます。


リンクド キャパシティ プラスの詳細については、15ページの「リンクド キャパシティ プラス」を参照してください。

📄 RSSI 値

ご使用の無線機のディスプレイ上部に受信信号強度インジケータ (RSSI) アイコンが表示されます。この機能により、RSSI 値を表示できます。

手順：

ホーム画面が表示されている場合：

- 1 ◀ を3回押して (◀-◀-◀) すぐに ▶ を3回押します (▶-▶-▶)。このすべての操作を5秒以内に行います。
- 2 ディスプレイには現在のRSSI値が表示されます。ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

RSSI アイコンについての詳細は、16ページの「ディスプレイアイコン」を参照してください。

アクセサリ

お使いの無線機は、本章に記載されているアクセサリと互換性があります。詳しくはディーラーにお問い合わせください。

アンテナ	118 ページ
オーディオ アクセサリ	118 ページ
バッテリー	118 ページ
Bluetooth	118 ページ
ケーブル	119 ページ
キャリア デバイス	119 ページ
充電器	119 ページ
その他アクセサリ	119 ページ

■ アンテナ

- 420 – 445 MHz スタビー アンテナ (PMAE4076_)
- 438 – 470 MHz スタビー アンテナ (PMAE4077_)
- 403 – 425 MHz スタビー アンテナ (PMAE4078_)

■ オーディオ アクセサリ

- インライン マイクおよび PTT 付き監視用イヤピース (PMLN5957_)
- インライン マイクおよび PTT 付きスイベル イヤピース (PMLN5958_)

■ バッテリ

- リチウム イオン 1800 mAH バッテリ パック (HKNN4013_)
- リチウム イオン 1370 mAH バッテリ パック (PMNN4425_)

■ Bluetooth

- 12 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (米国) (NNTN8125_)
- 12 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (欧州) (PMLN6051_)
- 12 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (英国) (PMLN6052_)
- 12 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (オーストラリア/ニュージーランド) (PMLN6053_)
- 9.5 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (米国) (NNTN8126_)
- 9.5 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (欧州) (PMLN6048_)
- 9.5 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (英国) (PMLN6049_)
- 9.5 インチ ケーブル付きオペレーション クリティカル ワイヤレス イヤピース (オーストラリア/ニュージーランド) (PMLN6050_)

- PTT Pod、12 インチケーブル付きイヤピース (NNTN8189_)
- オペレーションクリティカルワイヤレス PTT Pod (充電器なし) (NNTN8191_)
- HK200 韓国 (ASMHK200-KR2A)
- HK200 中国 (ASMHK200-CN2A)
- Hk200 オーストラリア/ニュージーランド (ASMHK200-AU2A)
- オペレーションクリティカルワイヤレス PTT Pod (米国) (NNTN8127_)
- HK200 ブルートゥース ヘッドセット (香港) (PMLN5992_)
- HK200 ブルートゥース ヘッドセット (韓国) (PMLN5986_)
- HK200 ブルートゥース ヘッドセット (欧州) (PMLN5988_)
- HK200 ブルートゥース ヘッドセット (アフリカ) (PMLN5989_)
- HK200 ブルートゥース ヘッドセット (中国) (PMLN5990_)

■ ケーブル

- Micro USB プログラミング ケーブル (25-124330-01R)

■ キャリー デバイス

- キャリー ホルダー (PMLN5956_)
- リストストラップ (PMLN6074_)

■ 充電器

- マルチユニット充電器、米国/日本プラグ (PMLN5916_)
- Micro USB 充電器、米国/日本プラグ (PMPN4009_)
- マルチユニット充電器、ユーロプラグ (PMLN5917_)
- Micro USB 充電器、ユーロ/英国プラグ (PMPN4006_)
- Micro USB 充電器、オーストラリア/ニュージーランドプラグ (PMPN4007_)
- Micro USB 充電器、中国プラグ (PMPN4008_)
- Micro USB 充電器、香港プラグ (PMPN4014_)
- Micro USB 充電器、韓国プラグ (PMPN4015_)
- マイクロ USB シングル ユニット プラグイン充電器 (SPN5547_)

■ その他アクセサリ

- 1370 mAH バッテリー カバー (PMLN6000_)
- 1800 mAH バッテリー カバー (PMLN6001_)

Notes (メモ)



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351

□ 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700

□ 札幌営業所 □ 名古屋営業所

□ 仙台営業所 □ 九州営業所



<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶



MOTOROLA

モトローラ・ソリューションズ株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木1-8-7

Motorola Solutions Malaysia Sdn Bhd (Co. No. 455657-H)

Plot 2 Bayan Lepas Technoplex Industrial Park

Mukim 12 S.W.D.

11900 Penang, Malaysia

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、

モトローラのロゴマークは、

Motorola Trademark Holdings, LLC の商標

または登録商標であり、ライセンスの下に使用
されています。

その他すべての商標は、個々の所有者に帰属します。

© 2011–2013 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

2013 年 4 月

www.motorolasolutions.com/slseries



68012006044-D